平成２３年度実施「学生満足度調査」
分析結果報告書

～アンケート結果による学生満足度の実態・構造とその向上のための提言～

平成２５年１月
学生満足度調査プロジェクト・チーム
目次

はじめに ............................................................................................................................................... 4
第1章 記述統計による調査結果（学部） ......................................................................................... 16
  1 属 性 ........................................................................................................................................... 16
  2 学生実態調査 ............................................................................................................................ 18
    2.1 価値観について ...................................................................................................................... 18
    2.2 教育について ......................................................................................................................... 19
    2.3 施設・設備について .............................................................................................................. 21
    2.4 学生生活・キャリア支援について ......................................................................................... 22
  3 学生満足度結果 ......................................................................................................................... 25
    3.1 カテゴリー別満足度 .......................................................................................................... 26
    3.2 学部別クロス集計結果 ....................................................................................................... 27
第2章 共分散構造分析（学部） .................................................................................................... 35
  1 はじめに－分析の目的－ ........................................................................................................... 35
  2 共分散構造分析とは何か ........................................................................................................... 36
  3 仮説モデル（多重指標モデル）の設計 ..................................................................................... 37
  4 満足度関連質問に対する回答の基本統計量 ............................................................................. 39
    4.1 総合的分析 .......................................................................................................................... 39
    4.2 属性間比較分析 ................................................................................................................ 41
      (1) 「ビジネス情報、経営情報（ビジネス情報・経営情報学部生）」と「看護（看護学部生）」... 41
      (2) 「下級生（2年生以下）」と「上級生（3年生以上）」 ....................................................... 41
      (3) 「日本人（日本人学生）」と「留学生」 ........................................................................... 42
      (4) 「所属部あり（セレクション実施部所属学生）」と「所属部なし」 ................................. 42
      (5) 「男性（男子学生）」と「女性（女子学生）」 ................................................................. 42
      (6) 「伊勢崎（伊勢崎キャンパス学生）」と「高崎（高崎キャンパス学生）」 .................. 42
  5 共分散構造分析による総合的分析 ............................................................................................. 44
  6 共分散構造分析による属性比較分析 ......................................................................................... 47
    6.1 ビジネス情報学部＋経営情報学部 vs. 看護学部 ................................................................. 48
    6.2 下級生（1・2回生） vs. 上級生（3・4回生） ...................................................................... 49
    6.3 日本人学生 vs. 留学生 ........................................................................................................ 50
    6.4 所属部（セレクション実施部）あり vs. 所属部なし ............................................................. 51
    6.5 男子学生 vs. 女子学生 ....................................................................................................... 52
    6.6 伊勢崎キャンパス学生 vs. 高崎キャンパス学生 ............................................................... 53
第3章 自由記入の意見等（学部） ........................................................................55
  1 自由記入欄の記入率 ........................................................................55
  2 自由記入欄の記入と総合満足度（VI－6）の平均値 ....................................56
  3 自由記入欄の内容 ........................................................................56
  4 提言 ................................................................................................59
第4章 記述統計による調査結果および自由記入の意見等（大学院） ....................62
  1 属性 ................................................................................................62
  2 実態調査の結果 ................................................................................63
  3 満足度調査の結果 ........................................................................64
  4 自由記入欄における意見等 ................................................................66
図表 ........................................................................................................68
はじめに

学生満足度調査は、現在、大学および大学院に在学する学生が、勉学や生活を営む場である本学の環境に対してどの程度の満足（不満）を得ているかを具体的に把握することを目的として実施するアンケート調査である。本学では、平成 20 年度に初めての学生満足度調査を行い、以後 3 年に一度調査実施の計画を立てている。したがって、平成 23 年度実施の今回の調査は、2 回目の学生満足度調査である。平成 23 年の 5 月に、8 名(FD4 名 SD4 名)のメンバーで構成されるプロジェクト（学生満足度調査プロジェクトと呼ぶ）を立ち上げ、平成 23 年 5 月から平成 24 年までに打ち合わせ会議を 7 回開催し、アンケート調査票の作成とともに、調査実施方法、集計・分析方法などについて検討を行った。この過程で、平成 23 年 6 月には教育討論会において本調査の趣旨・方法に関するプレゼンをメンバーの一一人石黒が行った。（資料 1 参照）

アンケート調査票は、ビジネス情報学部、経営情報学部、看護学部の 3 学部にはすべて共通の質問項目を設け、大学院については独自の質問項目を設定した。質問項目の構成は、学部および大学院のいずれも、導入部として、属性および価値観に関するものを設け、主要部として、学内環境の 3 本柱である、「教育」、「施設・設備」、「学生生活・キャリア支援」についてそれぞれ実態と満足度の両面から質問事項を設定し、最後に「総合的満足度」を問うかたちになっている。また、回答者の具体的な意見等を直接受けるための自由記入欄を設けている。（資料 2 および資料 3 参照）

調査は、平成 23 年 11 月 7 日（大学院は 29 日）から 12 月 1 日までの期間において、高い回収率の確保を企図し、プロジェクトメンバーの尽力に加え、多くの教職員の協力を得て実施された。アンケートの回収状況を見ると、学部については在籍者数 1655 名（ビジネス情報学部 989 名、経営情報学部 370 名、看護学部 296 名）（平成 23 年 12 月 1 日時点）に対して、回収数 1251（ビジネス情報学部 706、経営情報学部 278、看護学部 267）であり、（在籍者数に対する）回収率は約 76%（ビジネス情報学部 71%、経営情報学部 75%、看護学部 90%）である。また、大学院の在籍者数 68 名（平成 23 年 12 月 1 日時点）に対して回収数は 50 であり、回収率は約 74%である。

調査結果の分析は、まず、学部（ビジネス情報学部、経営情報学部、看護学部）および大学院のそれぞれについて、記述統計に基づいたデータの整理・分析を行った。学部に関しては、特に、「教育」、「施設・設備」、「学生生活・キャリア支援」の満足度が「総合的満足度」に対してどのように影響を及ぼしているかを見るために多重指標モデルを設定し、共分散構造分析を行った。また、自由記入欄の記された意見等についても、学部、大学院ともに内容に応じて項目を分類し、整理・分析を行った。分析の作業は、学部の記述統計の整理・分析については堀込が行い、大学院の記述統計の整理・分析に
ついては堀込および森が行った。また、学部の共分散構造分析は石黒により、そして、自由記入欄の記された意見等の整理・分析は、学部・大学院ともに植松によって行われた。

本報告では、調査結果および分析の内容が、学部に関して、記述統計による調査結果、共分散構造分析、自由記入の意見等がそれぞれまとめられ、大学院に関して、記述統計の調査結果および自由記入の意見等がまとめられている。本文は4章に分かれ、各章のタイトルと執筆担当者は以下の通りである。

第1章 記述統計による調査結果（学部） 堀込由紀（看護学部）
第2章 共分散構造分析（学部） 石黒秀明（ビジネス情報学部）
第3章 自由記入の意見等（学部） 植松盛夫（経営情報学部）
第4章 記述統計による調査結果および自由記入の意見等（大学院） 森 統（ビジネス情報学部）

今回の調査によって得られた情報には、貴重なものが少なからず含まれている。本調査が、本学発展の契機として大いに寄与することを期待する次第である。
＜資料１＞ 学生満足度調査プロジェクト 平成 23 年度活動記録

本プロジェクトは、当初「学生満足度調査票の開発プロジェクト」と称していたが、プロジェクトの作業に、アンケート調査票の作成のみならず、アンケートの実施および結果の分析を含むので、打ち合わせの過程で「学生満足度調査プロジェクト」と改めることとした。

メンバー：石黒秀明、植松盛夫、塚込由紀、森 統 （以上 FD）
高田幸健、堀井雅美、山越由治、吉田雅徳 （以上 SD）
オブザーバー：一戸真子、福嶋亘子（教育研究センター）

活動状況：

<table>
<thead>
<tr>
<th>日時</th>
<th>場所</th>
<th>会議等名称</th>
<th>議事等</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>平成 23年 5月 23日 10:30～12:00</td>
<td>高崎キャンパスメディアセンタープレゼンルーム</td>
<td>第1回打ち合わせ会議</td>
<td>メンバーの顔合わせ。一戸教育研究センター長によるプロジェクトの趣旨説明。</td>
</tr>
<tr>
<td>平成 23年 6月 13日 9:00～10:30</td>
<td>高崎キャンパスメディアセンタープレゼンルーム</td>
<td>第2回打ち合わせ会議</td>
<td>調査モデル(共分散構造分析)の説明</td>
</tr>
<tr>
<td>平成 23年 6月 27日 10:30～12:00</td>
<td>高崎キャンパス 304教室</td>
<td>教育討論会</td>
<td>学生満足度調査プロジェクトに関して石黒先生によるプレゼンがなされた。</td>
</tr>
<tr>
<td>平成 23年 7月 25日 10:45～12:00</td>
<td>高崎キャンパスメディアセンタープレゼンルーム</td>
<td>第3回打ち合わせ会議</td>
<td>アンケート調査項目の検討（2）</td>
</tr>
<tr>
<td>平成 23年 9月 13日 10:00～12:00</td>
<td>高崎キャンパスメディアセンタープレゼンルーム</td>
<td>第4回打ち合わせ会議</td>
<td>アンケート調査項目の検討（3）教授会における依頼の内容・手順について検討</td>
</tr>
<tr>
<td>平成 23年 10月 10日 14:00～17:00</td>
<td>伊勢崎キャンパス第2会議室</td>
<td>第5回打ち合わせ会議</td>
<td>アンケート調査項目の検討（4）</td>
</tr>
<tr>
<td>平成 23年 10月 24日 13:30～15:00</td>
<td>高崎キャンパスメディアセンタープレゼンルーム</td>
<td>第6回打ち合わせ会議</td>
<td>アンケート調査項目の検討（5）調査の実施要領の策定</td>
</tr>
<tr>
<td>平成 23年 11月 7日・29日 12月 9日</td>
<td>各キャンパス</td>
<td>アンケート調査の実施、調査票の回収</td>
<td>各ゼミまたは必修授業を通じて調査の実施</td>
</tr>
</tbody>
</table>
| 平成 23 年 12 月 中旬~平成 23 年 1 月 | 各キャンパス | 調査票の整理 | 読み取り操作およびエラーチェック
自由記入欄記述の電子化 |
| 平成 24 年 1 月 3 月上旬 | 各キャンパス | 調査結果の分析 | 各担当者による統計処理および記述の整理 |
| 平成 24 年 3 月 12 日 9:30 ~ 10:55 | 高崎 キャンパス メディアセンター プレゼンルーム | 第 7 回打ち合わせ会議 | 調査の分析結果の報告 |
＜資料2＞ 満足度調査票のフォーマット（学部）

【学生実態・満足度調査アンケート】（学部用）

このアンケートは、教員・職員がみなさんとともに、みなさんの上智大学を改善していくことを目的に実施するものです。回答が成績評価に影響することはありませんので、すべての問いにもれなく率直にお答えください。

＜記入上の注意事項＞
① 以下の各設問について、回答選択肢のうち、かならず1つにマークしてください（記入もれのないようにしてください）。ただし、「複数選択可」となっているものは、選択肢2つ以上にマークしても問題ありません。
② 回答にはかならず HBの鉛筆・シャープペンシル、またはボールペンを使用してください。
③ マークの記入は下の「よいマーク」の例にしたがって塗りつぶしてください。

(1) あなたの自身について

<table>
<thead>
<tr>
<th>学 部</th>
<th>①ビジネス情報学部</th>
<th>②経営情報学部</th>
<th>③看護学部</th>
<th>④科目等履修生</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>学 科</td>
<td>①ビジネス情報学科</td>
<td>②会計ファイナンス学科</td>
<td>③アジア地域ビジネス学科</td>
<td>④スポーツマネジメント学科</td>
</tr>
<tr>
<td>学 年</td>
<td>①1年</td>
<td>②2年</td>
<td>③3年</td>
<td>④4年</td>
</tr>
<tr>
<td>日本人学生・留学生区分</td>
<td>①日本人学生</td>
<td>②留学生</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>所属部（入学時にセレクションを実施している以下の部に所属している人はマークしてください）</td>
<td>①硬式野球部</td>
<td>②駅伝部</td>
<td>③サッカー部</td>
<td>④柔道部</td>
</tr>
<tr>
<td>性 別</td>
<td>①男 性</td>
<td>②女 性</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>年 齢</td>
<td>①19歳以下</td>
<td>②20歳〜25歳</td>
<td>③26歳〜30歳</td>
<td>④31歳〜35歳</td>
</tr>
<tr>
<td>現在の住所地</td>
<td>①群馬県</td>
<td>②埼玉県</td>
<td>③東京都</td>
<td>④栃木県</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Ⅱ あなたの価値観について

(1) 入学の目的を教えてください。（★★複数回答可★★）

| ①専門知識・技術を身につけるため | ②教養を身につけるため | ③資格（簿記・FP・IT・外語）を取得するため | ④一般教養 | マークしない |
| ⑤学歴を取得するため | ⑥就職活動のため | ⑦在籍活動のため | ⑧特に目的を意識していない |

(2) 大学生活で最も力を入れていることは何ですか。（★★複数回答可★★）

| ①専門的な勉強 | ②幅広い知識を身につけるための勉強 | ③資格取得のための勉強 | ④就職に有利な勉強 | ⑤外国語の勉強 | ⑥国際的視野を広げるための勉強 |
| ⑦クラブ・サークル活動 | ⑧ボランティア | ⑨学内の友人との付き合い | ⑩学外の友人との付き合い | ⑪趣味 |

提出期限: 平成23年12月9日（金）
提出場所: 各学部・教学課のボックス

ワク内をきっちりと塗りつぶす
### 大学の教育について

1. あなたの学習の実情についてお答えください。
   1. 本学の建学の精神（雑草精神＝あらくさだましい）を知っていますか。
      - ①意味を知っている ②聞いたことはある ③知らない
   2. 履修登録や受講の際にシラバスを利用していますか。
      - ①よく利用している ②ときどき利用している ③あまり利用していない ④全く利用していない ⑤シラバスを知らない
   3. 計画的に卒業要件を満たすための時間制のつくり型・履修登録の仕方をよく理解していますか。
      - ①よく理解している ②まあまあ理解している ③あまり理解していない ④全く理解していない（友人等にやってもらっている）
   4. 自分は授業に対してどのように考えられているか。
      - ①大いにそう思う ②ややそう思う ③どちらでもない ④あまりそう思わない ⑤全くそう思わない
   5. 学部のカリキュラムの科目構成は適切だと思いますか。
      - ①適切である ②履修しやすい ③履修しにくい
   6. 時間割等の学習（予習・復習・課題作成・レポート作成など）時間は週に平均何時間くらいですか。
      - ①10時間以上 ②5時間以上・10時間未満 ③2時間以上・3時間未満 ④2時間未満 ⑤全くしない
   7. 本学の海外研修に興味がありますか。
      - ①参加したことがある ②まあまあ興味がある ③あまり興味がない ④全く興味がない ⑤海外研修があることを知らない
   8. 10時間以上 5時間以上・10時間未満 2時間以上・3時間未満 2時間未満 ⑤全くしない

### 大学の施設・設備について

1. あなたの施設・設備の利用状況についてお答えください。
   1. 図書館をどの程度利用していますか。
      - ①週に3日以上 ②週に1～2日程度 ③2週間に1日程度 ④月に1日程度 ⑤ほとんどあるいは全く利用しない
   2. 図書館で本を1ヵ月にどの程度借りますか。
      - ①15冊以上 ②10冊～14冊 ③5冊～9冊 ④5冊未満 ⑤全く借りない
   3. 自己学習でコンピュータ・ルームを週にどの程度利用していますか。
      - ①5時間以上 ②3時間以上5時間未満 ③1時間以上3時間未満 ④1時間未満 ⑤全く利用しない
   4. 駐車場をどの程度利用していますか。
      - ①利用している ②利用していない
   5. 駐輪場をどの程度利用していますか。
      - ①利用している ②利用していない
   6. 運動施設を他の施設もどの程度利用していますか。
      - ①週に3日以上 ②週に1～2日程度 ③2週間に1回程度 ④月に1回程度 ⑤ほとんど利用しない
学生生活・キャリア支援について

1 あなたの学生生活・キャリア活動についてお答えください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
<tr>
<td>整備されている</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2 大学の施設・設備に対するあなたの満足度についてお答えください。（5段階で評価してください。最低：1⇒普通：3⇒最高：5）

<table>
<thead>
<tr>
<th>項目</th>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>教室の受講環境（清潔さ・広さ・照明・空調・AV設備など）は整備されていると思いますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>図書館の利用環境（館内設備・図書の貸出制度・職員の対応など）は快適ですか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>学内にあなたの友人と呼べる人がどのくらいいますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>キャリアサポート室をどの程度利用していますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>資格取得支援プログラムをどの程度活用していますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>郵やサークル等（同好会・愛好会等を含む）に加入していますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>部やサークル等（同好会・愛好会等を含む）に加入していますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>雑草祭（あらくささい）などの大学のイベントに参加していますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>あなたと教員や事務職員との関係は良好だと感じますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>学内にあなたの友人と呼べる人がどのくらいいますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>保健室を利用したことがありますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>カウンセリング室を利用したことがありますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>キャリアサポート室をどの程度利用していますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>資格取得支援プログラムをどの程度活用していますか。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>あなたの学生生活・キャリア活動についてお答えください。</td>
<td>⑤</td>
<td>④</td>
<td>③</td>
<td>②</td>
<td>①</td>
</tr>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Ⅴ 学生生活・キャリア支援について

1 あなたの学生生活・キャリア活動についてお答えください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2 大学の施設・設備に対するあなたの満足度についてお答えください。（5段階で評価してください。最低：1⇒普通：3⇒最高：5）

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

3 あなたと教員や事務職員との関係は良好だと感じますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

4 郵やサークル等（同好会・愛好会等を含む）に加入していますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

5 キャリアサポート室をどの程度利用していますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

6 資格取得支援プログラムをどの程度活用していますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

7 学内にあなたの友人と呼べる人がどのくらいいますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

8 保健室を利用したことがありますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

9 カウンセリング室を利用したことがありますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

10 長期休暇（春・夏・冬休み）以外の時期（前・後期中）にアルバイトをどの程度していますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>快適でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>満足でない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>
11

自由記入欄

上武大学をさらによい大学にするために、上武大学の教育、施設・設備、学生生活全般にわたるさまざまな支援制度について、思うところを自由に書いてください。
＜資料３＞ 満足度調査票のフォーマット（大学院）

【学生実態・満足度調査アンケート】（大学院用）

このアンケートは、教員・職員がみなさんとともに、みなさんの上武大学を改善していくことを目的に実施するものです。回答が成績評価に影響することはありませんので、すべての問いにもれなく率直にお答えください。

＜記入上の注意事項＞
① 以下の各設問について、回答選択肢のうち、かならず1つにマークしてください（記入もれのないようにしてください）。ただし、「複数選択可」となっているものは、選択肢2つ以上にマークしても問題ありません。
② 回答にはかならず HB の鉛筆・シャープペンシル、またはボールペンを使用してください。
③ マークの記入は下の「よいマーク」の例にしたがって塗りつぶしてください。

（例）よいマーク  ☒  わるいマーク ☐　 ☐　 ☐　 ☐
と塗りつぶす

提出期限：
平成23年12月9日（金）

I あなた自身について

(1) 所属コース

[ ] 経営管理  [ ] 会計システム  [ ] 経営情報システム  [ ] 流通・経済システム
① ② ③ ④ ⑤
⑤ スポーツ健康マネジメント

(2) 学 年（入学年度）

①2009年度以前  ②2010年度  ③2011年度

(3) 日本人学生・留学生区分

①日本人学生  ②留学生

(4) 性 別

①男性  ②女性

(5) 年齢

①25歳以下  ②26歳~30歳  ③31歳~35歳  ④36歳以上

(6) 学 歴

①上武大学  ②上武大学以外の大学  ③その他

(7) 出身学部系統

①法・経済  ②経営・商学  ③社会学・文学  ④医療・看護  ⑤理・工学  ⑥その他

(8) 社会人経験の有無（★★★複数回答可★★★）

①会社員（年）  ②公務員（年）  ③アルバイト・パート・派遣社員（年）
④自営業（年）  ⑤その他（年）  ⑥社会人経験なし

Ⅱ あなたの価値観について

(1) 大学院進学の主な目的は何ですか。

①高度な専門知識を身につける  ②学位（修士号）の取得  ③専門性の高い職業に就く
④他の資格（税理士など）の取得に備える  ⑤特に目的はない  ⑥その他

(2) 本学大学院研究科の当該コースを希望した主な理由は何ですか。

①興味・関心の高い内容である  ②他の資格取得につながる  ③専門の職業につながる
④特に理由はない  ⑤その他

12
### Ⅲ 大学院の教育について

1. あなたの学習の実情についてお答えください。

   (1) 大学院には週に何日登校していますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>1日</th>
<th>2日</th>
<th>3日</th>
<th>4日</th>
<th>5日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (2) 週に何コマの授業を受けていますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>1コマ</th>
<th>2〜3コマ</th>
<th>4〜5コマ</th>
<th>6〜7コマ</th>
<th>8コマ以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (3) 各授業への出席状況は良好ですか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①授業が非常に多い</th>
<th>②授業が比較的多い</th>
<th>③授業は15程度である</th>
<th>④授業はごくわずかである</th>
<th>⑤授業はない</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (4) 授業の予習・復習を含めた自宅での学習時間は週に平均何時間くらいですか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①5時間未満</th>
<th>②5時間以上・10時間未満</th>
<th>③10時間以上・15時間未満</th>
<th>④15時間以上・20時間未満</th>
<th>⑤20時間以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (5) 指導教員およびその他の教員に対し授業・研究・論文作成についてどの程度の頻度で質問や相談をしますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①全くしない</th>
<th>②月に1回以下</th>
<th>③月に2〜3回</th>
<th>④毎週1回</th>
<th>⑤頻繁にする</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2. 大学院の教育に対するあなたの満足度についてお答えください。（5段階で評価してください。最低：1⇒普通：3⇒最高：5）

   (1) あなたの施設・設備の利用状況についてお答えください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①1日</th>
<th>②2日</th>
<th>③3日</th>
<th>④4日</th>
<th>⑤5日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>5</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (2) 自習や資料収集等で図書館をどのくらい利用しますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①1ヵ月未満</th>
<th>②1〜2ヵ月</th>
<th>③3〜4ヵ月</th>
<th>④5〜6ヵ月</th>
<th>⑤7ヵ月以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (3) 整備されていない \(2\)教室や演習室は授業を受けるのに十分に整備されていると思いますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①全くしない</th>
<th>②月に1回以下</th>
<th>③月に2〜3回</th>
<th>④毎週1回</th>
<th>⑤頻繁にする</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (4) 运動施設を授業または課外活動でどの程度利用しますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①全く利用しない</th>
<th>②1回以下</th>
<th>③2〜3回</th>
<th>④4〜5回</th>
<th>⑤6回以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### Ⅳ 大学院の施設・設備について

1. あなたの施設・設備の利用状況についてお答えください。

   (1) 院生用自習室を週に何時間くらい利用していますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①1時間未満</th>
<th>②1〜2時間</th>
<th>③3〜4時間</th>
<th>④5〜6時間</th>
<th>⑤7時間以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (2) 自習や資料収集等で図書館をどのくらい利用しますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①ほとんどない</th>
<th>②1〜2日</th>
<th>③3〜4日</th>
<th>④5〜6日</th>
<th>⑤7〜8日</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (3) 図書館で本を1ヵ月にどれくらい借りますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①全く借りない</th>
<th>②1〜2冊</th>
<th>③3〜4冊</th>
<th>④5〜6冊</th>
<th>⑤7〜8冊</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

   (4) 運動施設を授業または課外活動でどの程度利用しますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>①全く利用しない</th>
<th>②1回以下</th>
<th>③2〜3回</th>
<th>④4〜5回</th>
<th>⑤6回以上</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
<td>⑤</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2. 大学の施設・設備に対するあなたの満足度についてお答えください。（5段階で評価してください。最低：1⇒普通：3⇒最高：5）

   (1) 教室や演習室は授業を受けるのに十分に整備されていると思いますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>整備されていない</th>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
</table>

   (2) AV教室やコンピュータ教室は十分に整備されていると思いますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>整備されていない</th>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
</table>

   (3) 院生自習室は整っていて使いやすいと思いますか。

<table>
<thead>
<tr>
<th>使いにくい</th>
<th>①</th>
<th>②</th>
<th>③</th>
<th>④</th>
<th>⑤</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>(4) 図書館は学習や研究のために利用しやすく十分に役に立っていますか。</td>
<td>役に立っていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>(5) 学内の施設（掲示板・廊下・トイレ）の整理整頓や清掃が行き届いていると思いますか。</td>
<td>行き届いていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
<tr>
<td>(6) 教育研究棟以外の施設（三俣記念館・学生ホール・学生談話室）や運動施設（グラウンド・コート・体育館）は整備されていると思いますか。</td>
<td>整備されていない</td>
<td>①</td>
<td>②</td>
<td>③</td>
<td>④</td>
</tr>
</tbody>
</table>

Ⅴ 学生生活・キャリア支援について

1 あなたの学生生活・キャリア活動についてお答えください。

(1) 院生同士で授業・研究や学位論文（修士論文・特定課題共同研究論文）作成について情報交換・意見交換をしますか。

①全くしない  ②たまにする  ③比較的よくする  ④頻繁にする

(2) 院生同士で学習・研究以外のこと（日々の生活のことなど）を話すことがありますか。

①全く話さない  ②たまに話す  ③比較的よく話す  ④頻繁に話す

(3) 生活上の悩みや問題について大学側に問い合せたことがありますか。

①全くない  ②たまにある  ③比較的よくある  ④頻繁にある

(4) 奨学金制度の利用について教えてください。（★★複数回答可★★）

①奨学金を受給（借入）したことがある  ②現在受給（借入）している  ③今後受給（借入）を希望している  ④全く受給（借入）するつもりはない

(5) 通学にどれくらい時間がかかりますか。

①30分未満  ②30分以上・1時間未満  ③1時間以上・1時間30分未満  ④1時間30分以上・2時間未満  ⑤2時間以上

(6) 学生食堂・売店をどれくらい利用しますか。

①全く利用しない  ②たまに利用する  ③比較的よく利用する  ④頻繁に利用する

(7) 現時点において大学院修了後の進路の予定は何ですか。

①日本の民間企業に就職  ②公務員  ③本国に帰国して就職  ④博士課程に進学  ⑤その他

2 大学生活等に対するあなたの満足度についてお答えください。（５段階で評価してください。最低：1⇒普通：3⇒最高：5）

(1) 健康管理・精神的悩み・ハラスメントその他生活上の問題に関する相談の対応について、大学院の対応は整っていると思いますか。

①全くいない  ②たまに問題は整っている  ③比較的よく問題は整っている  ④頻繁にある問題は整っている

(2) 卒業生等に対するあなたの満足度についてお答えください。（5段階で評価してください。最低：1⇒普通：3⇒最高：5）

(1) 本大学院での学習および研究を中心とした自分の生活に意義を感じていますか。

①感じていな  ②たまに感じている  ③比較的よく感じている  ④頻繁に感じている

(2) 本大学院での学習および研究は自分の将来のキャリアアップにつながると思うことができますか。

①全く望めない  ②たまに望む  ③比較的よく望む  ④頻繁に望む

(3) 総合的に見て本大学院の教育や研究推進の態勢に満足していますか。

①全く満足していない  ②たまに満足している  ③比較的よく満足している  ④頻繁に満足している

(4) 大学院でのこれまでの自身の学習成果にかんがみて、最終的に自身の納得できる修士論文を完成させることができそうだと思いますか。

①全く思わない  ②たまに思っている  ③比較的よく思っている  ④頻繁に思っている

Ⅵ 大学に対する総合的な満足度について（5段階で評価してください。最低：1⇒普通：3⇒最高：5）

(1) 本大学院での学習および研究を中心とした自分の生活に意義を感じていますか。

①感じていな  ②たまに感じている  ③比較的よく感じている  ④頻繁に感じている

(2) 本大学院での学習および研究は自分の将来のキャリアアップにつながると思うことができますか。

①全く望めない  ②たまに望む  ③比較的よく望む  ④頻繁に望む

(3) 大学院でのこれまでの自身の学習成果にかんがみて、最終的に自身の納得できる修士論文を完成させることができそうだと思いますか。

①全く思わない  ②たまに思っている  ③比較的よく思っている  ④頻繁に思っている

14
自由記入欄
上武大学をさらによい大学にするために、上武大学の教育、施設・設備、学生生活全般にわたるさまざまな支援制度について、思うところを自由に書いてください。
第1章 記述統計による調査結果（学部）

1「属性」、2「実態（価値観・教育・施設・設備・学生生活・キャリア支援）」、3「満足度（学部別クロス集計）」の3部構成で述べていく。（回答数1251枚）

1 属性

学部の割合はビジネス情報学部がおよそ60%を占め、経営情報学部20%、看護学部20%で、全体的な傾向はビジネス情報学部の回答の影響を受ける可能性が示唆された（図1・2）。学年では、4年生17%・3年生23%・2年生28%・1年生32%で、1・2年生が合わせて60%を占めた（図3）。留学生の割合は全体の20%であった（図4）。学年では、男子学生はおよそ70%、女子学生は30%という結果で、全体的な傾向は男子学生の回答の影響を受ける可能性が示唆された（図1・2）。年齢は、19歳以下30%、20〜25歳62%で、合わせて90%以上が現役学生であった（図7）。所属部は、硬式野球部31%、駅伝部17%、サッカー部18%陸上競技部10%など、スポーツ部が96%を占めていた（図5）。出身地は群馬県が73%、埼玉県が15%、その他東京都、栃木県、長野県等の他県12%であった（図8）。

図1 学部

図2 学科
2 学生実態調査

2.1 価値観について

入学の目的は、一般教養よりも「資格取得」23%、「専門知識・技術」21%、「課題・部活動」15%、「学歴の取得」16%など、専門知識や技術、技能の習得を目的としている学生が75%を占めた。「目的なし」と答えた学生が3%存在することは気になるところである。

また、大学生活の中で「最も力を入れていること」では、「クラブ・サークル活動」16%、「専門知識」14%、「資格取得」13%、「幅広い知識」13%、「アルバイト」・「友人との付き合い(学内)」7%などが上位になったが、やはり「特になし」が3%存在している。
学生実態調査記述統計を以下に示す（表1）。

表1　H23年度　学生実態調査結果記述統計（学部全体）

<table>
<thead>
<tr>
<th>カテゴリ</th>
<th>質問番号</th>
<th>質問内容</th>
<th>平均値</th>
<th>標準偏差</th>
<th>度数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>教育実態</td>
<td>Ⅲ-1-1</td>
<td>雑草精神の認知</td>
<td>1.65</td>
<td>0.64</td>
<td>1248</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-1-2</td>
<td>シラバスの利用</td>
<td>2.15</td>
<td>0.96</td>
<td>1245</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-1-3</td>
<td>時間割・科目登録の理解</td>
<td>1.81</td>
<td>0.70</td>
<td>1247</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-1-4</td>
<td>授業に対するまじめさ</td>
<td>2.34</td>
<td>0.97</td>
<td>1244</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-1-5</td>
<td>自己学習時間</td>
<td>3.79</td>
<td>1.07</td>
<td>1247</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-1-6</td>
<td>海外研修への関心</td>
<td>2.79</td>
<td>0.99</td>
<td>1246</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-1-1</td>
<td>図書館の利用頻度</td>
<td>3.43</td>
<td>1.38</td>
<td>1245</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-1-2</td>
<td>図書借用本数</td>
<td>4.39</td>
<td>0.86</td>
<td>1244</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-1-3</td>
<td>PCルーム利用時間</td>
<td>3.77</td>
<td>1.13</td>
<td>1243</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-1-4</td>
<td>駐車場の利用</td>
<td>1.66</td>
<td>0.47</td>
<td>1244</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-1-5</td>
<td>駐輪場の利用</td>
<td>1.61</td>
<td>0.49</td>
<td>1229</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-1-6</td>
<td>運動施設の利用(授業以外)</td>
<td>3.65</td>
<td>1.72</td>
<td>1245</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-1-7</td>
<td>売店・食堂の利用</td>
<td>2.09</td>
<td>1.13</td>
<td>1230</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-1</td>
<td>キャリアサポート室の利用</td>
<td>4.54</td>
<td>0.99</td>
<td>1228</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-2</td>
<td>資格支援プロジェクトの利用</td>
<td>4.09</td>
<td>1.00</td>
<td>1227</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-4</td>
<td>部・サークルの加入</td>
<td>2.55</td>
<td>1.37</td>
<td>1214</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-5</td>
<td>大学イベント参加</td>
<td>2.90</td>
<td>1.18</td>
<td>1221</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-6</td>
<td>教員・事務員との関係</td>
<td>2.82</td>
<td>1.18</td>
<td>1227</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-7</td>
<td>友人数</td>
<td>2.16</td>
<td>0.95</td>
<td>1226</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-8</td>
<td>保健室の利用</td>
<td>4.22</td>
<td>0.84</td>
<td>1226</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-9</td>
<td>カウンセリング室の利用</td>
<td>4.42</td>
<td>0.79</td>
<td>1225</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-10</td>
<td>アルバイト</td>
<td>2.57</td>
<td>1.27</td>
<td>1225</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-11</td>
<td>奨学金の利用</td>
<td>2.64</td>
<td>1.38</td>
<td>1224</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅴ-1-12</td>
<td>通学時間</td>
<td>3.93</td>
<td>1.31</td>
<td>1224</td>
</tr>
</tbody>
</table>

2.2 教育について

雑草精神の認知では、学生の 90%は何らかの形で認知している（図11）。シラバスの利用は、およそ 76%の学生は活用しているが、利用しないと答えた学生は 30%存在し、シラバスを知らないと答えた学生が 2%存在した（図12）。履修方法はおよそ 90%は理解している
と答えたが、理解していないと答えた学生は 13%存在した（図 13）。授業への取り組みについては真面目であると答えた学生は全体の 70%を占め、まじめでないと答えた学生は 12%であった（図 14）。自己学習時間（週単位）では、最も回答が多かったのは「全くしない」で 30%、次いで 2 時間未満が 37%、2~3 時間未満が 21%であった。5 時間以上と答えた学生は全体の 12%存在した（図 15）。海外研については、参加経験ありが 5%、興味があると答えた学生は 40%存在し、学生たちの関心は高いといえる（図 16）。
2.3 施設・設備について
図書館の利用頻度については、最も回答数が多かったのは「利用しない」31%、「週に1~2回」「月に1回」の22%、「2週間に1回」15%であった。「週3回以上」と答えた学生は10%存在した（図17）。図書の借用では、「借りない」の58%が最も多いが、「5冊未満」30%、「5〜9冊」は8%、10冊以上借りている学生は合わせて全体の4%存在した。コンピュータールームの利用は、最も回答数が多かったのは「利用しない」35%で、次いで「1〜3時間」27%、「1時間未満」26%であり、1時間以上利用する学生は12%存在した。駐車場、「利用している」33%、「利用していない」67%であった（図20）。駐輪場は、「利用している」40%、「利用していない」60%であった（図21）。運動施設の利用については、最も回答数が多かったのは「利用しない」57%、次いで「週に3日以上」22%、「週に1~2日」11%であった（図22）。売店・食堂の利用は、「毎日」・「よく利用」は67%で、「たまに利用」22%、「利用しない」は11%であった（図23）。

80%以上の学生が利用している現状であった。
2.4 学生生活・キャリア支援について

キャリアサポート室の利用では、最も多かったのは「利用しない」77%で、週に数度利用すると答えた学生は8%であった（図24）。資格支援プロジェクトの利用については、最も多かったのは「プログラムを知らない」45%で、次いで「全く活用しない」29%、あまり活用しない19%で、「まあまあ活用している」「よく利用している」は7%であった（図25）。これによりキャリア支援を活用している学生は、7〜8%であるといえる。

課外活動への参加では、「体育系」38%、「文科系」13%、「体育・文化系の両方」6%で、課外活動に所属している学生は全体のおよそ60%であった（図26）。大学のイベントに対して「積極的に参加」「時々参加」は37%で、「あまり参加しない」「全く参加しない」「イベントを知らない」を合わせると63%であった（図27）。教員・事務職員との関係については、「大いに感じる」「まあまあ感じる」を合わせて49%、「あまり感じない」「感じない」を合わせると37%であった（図28）。友人の存在では、「たくさんいる」「まあまあいる」を合わせると78%、「ほとんどいない」「まったくいない」を合わせると17%「意識していない」は5%であった（図29）。約80%の学生は友人関係
を築けているが、大学内で友人関係を築けない学生は全体の20％存在した。保健室の利用では、最も多かったのは「保健室を知らない」43％、次いで「全く利用しない」が42％で、「良く利用する」「時々利用する」は合わせて4％であった（図30）。カウンセリング室の利用では、最も多かったのは「カウンセリング室を知らない」55％、次いで「全く利用しない」36％であった（図31）。「よく利用する」「時々利用する」は合わせて4％であった。アルバイトの現状では、最も多かったのは「していない」37％、次いで「週に3日以上」32％、「不定期」が16％「週に1～2日」が15％であった（図32）。奨学金の利用で、最も多かったのは「現在利用している」37％、次いで「利用の必要がない」32％、「利用したいができない」学生は21％存在した（図33）。通学時間では、最も多かったのは「30分未満」50％で、次いで「30分以上1時間未満」18％であった（図34）。2時間以上かけて通学している学生は7％存在した。

図24 キャリアサポート室利用
図25 咨栄支援プログラム
図26 部・サークルの加入
図27 大学イベント参加
3 学生満足度結果

学生満足度調査記述統計結果を以下示す（表2）。

### 表2 H23年度 学生満足度調査結果記述統計（学部全体）

<table>
<thead>
<tr>
<th>カテゴリー</th>
<th>質問番号</th>
<th>質問内容</th>
<th>平均値</th>
<th>標準偏差</th>
<th>度数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>教育（満足）</td>
<td>Ⅲ-2-1</td>
<td>科目構成</td>
<td>2.80</td>
<td>0.95</td>
<td>1240</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-2-2</td>
<td>履修のしやすさ</td>
<td>2.74</td>
<td>0.99</td>
<td>1246</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-2-3</td>
<td>授業時間</td>
<td>3.19</td>
<td>0.99</td>
<td>1245</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-2-4</td>
<td>授業の理解</td>
<td>2.91</td>
<td>0.92</td>
<td>1241</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-2-5</td>
<td>履修要件・成績管理</td>
<td>3.06</td>
<td>0.93</td>
<td>1245</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅲ-2-6</td>
<td>ゼミ・チューター指導</td>
<td>3.29</td>
<td>1.13</td>
<td>1246</td>
</tr>
<tr>
<td>施設・設備（満足）</td>
<td>Ⅳ-2-1</td>
<td>教室環境</td>
<td>3.16</td>
<td>1.13</td>
<td>1232</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-2-2</td>
<td>図書館利用</td>
<td>3.46</td>
<td>1.03</td>
<td>1228</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-2-3</td>
<td>図書館蔵書</td>
<td>3.24</td>
<td>1.04</td>
<td>1229</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-2-4</td>
<td>コンピュータ環境</td>
<td>3.26</td>
<td>1.06</td>
<td>1226</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-2-5</td>
<td>体育関連施設</td>
<td>2.75</td>
<td>1.10</td>
<td>1227</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>Ⅳ-2-6</td>
<td>売店・食堂</td>
<td>2.64</td>
<td>1.12</td>
<td>1228</td>
</tr>
<tr>
<td>学生生活・キャリア支援（満足）</td>
<td>V-2-1</td>
<td>事務員対応</td>
<td>3.08</td>
<td>1.14</td>
<td>1220</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-2</td>
<td>事務手続き</td>
<td>3.05</td>
<td>1.05</td>
<td>1215</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-3</td>
<td>キャリアサポート室</td>
<td>3.03</td>
<td>0.84</td>
<td>1204</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-4</td>
<td>大学イベント数・内容</td>
<td>2.71</td>
<td>0.97</td>
<td>1214</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-5</td>
<td>部・サークル数</td>
<td>2.80</td>
<td>1.05</td>
<td>1215</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-6</td>
<td>交友機会</td>
<td>2.69</td>
<td>1.02</td>
<td>1217</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-7</td>
<td>健康支援</td>
<td>2.79</td>
<td>0.91</td>
<td>1210</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-8</td>
<td>カウンセリング</td>
<td>2.78</td>
<td>0.83</td>
<td>1209</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-9</td>
<td>経済支援</td>
<td>2.83</td>
<td>0.93</td>
<td>1214</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>V-2-10</td>
<td>通学支援</td>
<td>2.84</td>
<td>1.16</td>
<td>1216</td>
</tr>
<tr>
<td>総合的満足度</td>
<td>VI-2-1</td>
<td>知識・技能の習得</td>
<td>2.9</td>
<td>0.94</td>
<td>1214</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>VI-2-2</td>
<td>人間的成長</td>
<td>3.1</td>
<td>1.01</td>
<td>1212</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>VI-2-3</td>
<td>出会い</td>
<td>3.1</td>
<td>1.05</td>
<td>1214</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>VI-2-4</td>
<td>キャリアプラン</td>
<td>2.8</td>
<td>0.99</td>
<td>1215</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>VI-2-5</td>
<td>誇り・自信</td>
<td>2.6</td>
<td>1.11</td>
<td>1213</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>VI-2-6</td>
<td>総合的満足</td>
<td>2.8</td>
<td>1.05</td>
<td>1213</td>
</tr>
</tbody>
</table>
3.1 カテゴリー別満足度

学生満足度では、まず、学部全体の質問項目の平均値を活用し、その傾向をレーダーチャートで示した。教育では、「科目構成の適切性」「履修のしやすさ（時間割等）」以外の項目はすべて 3 以上となり、3 を中心にバランスが保たれている（図 35）。施設・設備では、3 を割るのは「売店・食堂」、「体育関連施設」であった（図 36）。学生生活・キャリア支援では、「事務職員の対応」「事務手続き」「キャリアサポート室」は 3 を示したものので、それに付随する項目では 3 を割り込んだ。その中で最も平均値は低かったのは「大学イベント数・内容」であった。総合的満足度では、「知識・技能の習得」「人間的成長」「出会い」「キャリアプラン」「総合的満足度」はほぼ 3 であったが、「上武大学生としての誇り・自信」は 2.6 と最も低かった。
3.2 学部別クロス集計結果

学部生の満足度に関して学部ごとのクロス集計結果について述べる。大学の教育に対する満足度では、多くの項目で看護学部の満足は低い傾向にあった。看護学部が「普通」を含めて8割の肯定を示したのは「科目あたりの授業時間」「履修要件・成績管理」であった。逆に否定的な回答が4割を超えたのは「科目構成」「履修しやすさ（時間割等）」であった。経営情報学部では、「履修しやすさ」「履修要件・成績管理」の満足度が低い傾向にある。ビジネス情報学部では、他の学部に比較して各項目の満足度が高い傾向にある。

大学の施設・設備では、看護学部の厳しい評価が目立つ。特に教室内の「受講環境」「図書室利用環境」は4割強が不満足であると答えている。「図書室利用環境」は経営情報学部でも不満足が4割を超えている。「コンピュータ環境」は3学部ともに約7割の学生が満足または肯定的に回答している。「売店・食堂」については、ビジネス情報学部では「満足」「やや満足」が4割を超えているが、看護学部では否定的な回答が4割を超えている。しかし、同じ高崎キャンパスでも経営情報学部は否定的な意見は2割であった。性別や嗜好・価値観などの影響も考えられる。

学生生活・キャリア支援について、ここでも「看護学部」生の評価は厳しい。4割が不満足と答えた項目は「事務手続き」「大学のイベント」「交友機会」「通学支援」である。「ビジネス情報学部」は満足度が高い傾向にあるが、3割が「イベント」「交友機会」「通学支援」に対して不満足と答えている。「経営情報学部」は、「ビジネス情報学部」と傾向が類似している。

総合的満足の各項目では、3学部とも大きな差はない。「満足」は約2割、「普通」が5割、「不満」が3割である。特徴的なのは、「看護学部」は「誇り・自信」以外は他の学部に比べて高い傾向にあることである。3学部とも「人間的成長」「出会い」に対して実感していると答えた割合は3割、「普通」を入れると約8割が肯定している。「ビジネス情報学部」「経営情報学部」は類似傾向にあるが、約3割は「キャリアプランの描写」「知識・技能の習得」が不満足と答えている。最後の「総合的満足」の項目は、「普通」まで入れると3学部とも同等に7割は肯定している結果となった。
図39 学部別満足度（教育1 科目構成）

図40 学部別満足度（教育2 履修しやすさ）

図41 学部別満足度（教育3 1科目あたりの授業時間）

図42 学部別満足度（教育4 授業の理解）
第2章 共分散構造分析（学部）

ビジネス情報学部 石黒 秀明

1 はじめに—分析の目的—

本稿ではアンケート調査の学生満足度に関する質問の回答データをもとに、学生満足度に影響を及ぼす諸要因について定量的な分析を行う。

具体的には、主として心理統計学の分野で用いられ、近年ではマーケティング分野での顧客満足に関する実証研究にも活用されている「共分散構造分析」という多変量解析手法を用いて、大学における「教育」・「施設設備」・「学生生活」という3つの学生に対する施策・支援要素が、学生の大学への「総合的満足度」に影響を及ぼしているという仮説（多重指標モデル）を構築したうえで、その検証と、そのうちのどの要素がどれほど強く満足度に影響を与えているのか、そしてその構造が「所属学部」や「性別」といった属性で相違するのかどうか、を分析する。
この分析を行う目的は、現在の学生の大学の施策・支援に対する満足度の構成構造を明らかにするとともに、その満足度をドライプするキー・ファクターを検出して、教育の質の向上のためのPDCAサイクルをより効率的・効果的に実践するための有用な情報を提供することにある。

本稿の構成は以下のとおりである。

第2章では「共分散構造分析」の基礎的な内容について説明する。第3章では今回の分析のための仮説モデル（多重指標モデル）を設計する。第4章では満足度の分析に用いたアンケート回答結果の記述統計による分析・解釈を行う。第5章では共分散構造分析による総合的な分析・解釈を行う。第6章では属性ごとの共分散構造分析を行ってその構造の比較・分析を試みる。第7章では結論として分析結果が今後の本校の教育施策に対してもつインプリケーションについて若干の考察を行う。

なお、本研究では統計解析ソフトウェアとして、基本統計量の分析にはIBM® SPSS® Statistics Version19を、共分散構造分析にはIBM® Amos® Version19を使用している。
2 共分散構造分析とは何か

共分散構造分析（Covariance Structure Analysis）1とは、「観測データの背後にあるさまざまな要因の関係を分析する統計手法（傍点筆者）」2である。ここでいう「観測データ」とは客観的・具体的に測定可能な数値指標（観測変数）であって、「要因」とは直接測定できない構成概念（潜在変数）である。

観測変数どうしの関係、特に因果関係を明らかにする分析手法として「回帰分析（Regression Analysis）」があり、観測変数からそれらの共通要因である潜在変数を探り出す分析手法として「因子分析（Factor Analysis）」があるが、共分散構造分析はこれら2つを一体として潜在変数間の因果関係を明らかにする分析手法であると考えればイメージしやすい。

図1 共分散構造分析のイメージ

共分散構造分析の原理は、実際のデータのもつ情報をできるだけ再現するよう、具体的には変数間の関係を示す仮説モデルから算出した理論値の分散共分散が実際データのそれに最も適合するよう、仮説モデル（「パス図」という）のパラメータを決めるというもので、その特徴としては主に、①データの背後にある「見えないもの」を具体化する（観測変数と潜在変数の関係を定量化する）ことができる、②データの背後にある要因間（複数

1 共分散（$s_{xy}$）は2変数（$x$, $y$）の関係の強さを測る量であり、$\bar{x}$及び$\bar{y}$をそれぞれの平均値としたとき、次の式で表される。

$$s_{xy} = \sum_{i=1}^{n} (x_i - \bar{x})(y_i - \bar{y})/(n-1)$$

なお、共分散を2変数の標準偏差で割ったものが相関係数（R）であり次の式で表される。

$$R_{XY} = s_{xy} / s_x s_y$$

これは2変数の関係に線形（直線）関係があるかどうかを示す指標で、$R = 1$ のとき完全（正）相関、$R = 0$ のとき無相関、$R = -1$ のとき完全（負）相関となる。

2 豊田秀樹『共分散構造分析[Amos編]－構造方程式モデリング』p.2（東京図書, 2007）
の潜在変数間の関係を定量化することができる。③パス図の利用により視覚的にデータ分析（観測変数と潜在変数の関係分析）ができる、という3点を挙げることができる。
下図はパス図の1例であり、「体力の高い野球選手は打力も高い」という仮説を検証しようとするモデル（多重指標モデル）である。野球選手の「体力」と「打力」という観測できない構成概念をそれぞれ複数の観測可能な数値指標で測定しつつ、構成概念間の因果関係を検証するので、矢印で示される各パス係数の値（パラメータ）が、変数間の結びつきまたは因果関係の強さを表すことになる。

図2 共分散構造分析で用いられるパス図の例

3 仮説モデル（多重指標モデル）の設計

ここでは共分散構造分析のための仮説モデル（多重指標モデル）の設計を行う。モデル設計のために設定した仮説は次のとおり。

仮説1: 学生の大学に対する総合的満足度は、大学が学生に提供する「教育」・「施設設備」・「学生生活」という3つの支援要素によって決定される。
仮説2: 学生の総合的満足度に「コア要素」として最も大きな影響を及ぼす支援要素は「教育」である。
仮説3: 「施設設備」および「学生生活」の支援要素は、学生の総合的満足度に対して直接的な影響のみならず、「サポート要素」として「教育」を通じた間接的な影響も及ぼす。

注：本著は、山本嘉一郎・小野寺孝義編著『Amosによる共分散構造分析と解析事例』（ナカニシヤ出版, 1999年）pp.9-10から引用した。
この仮説およびモデルの設計の前提となる想定は、まず、大学の根源的な使命が学生に対する「教育」にあることから、それが学生の大学に対して感じる満足（「総合満足度」）の中心的な要因となること、そして、その「教育」をハード面から支える要因として大学の有する「施設設備」、ソフト面から支える要因としてさまざまな「学生生活」支援策がそれぞれ位置づけられるであろうということである。

これら4つの構成概念から抽出される観測値データの収集のためアンケートでは合計27個の質問を設定した。設定した変数リストおよびモデル（以下「学生満足度モデル」と呼称する）および以下のとおりである。

表1 学生満足度モデル変数リスト

<table>
<thead>
<tr>
<th>潜在変数</th>
<th>観測変数</th>
<th>質問内容</th>
<th>質問番号</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1 教育</td>
<td>科目構成</td>
<td>学部のカリキュラムの科目構成は適切だと思いますか。</td>
<td>Ⅲ 2 (1)</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>時間割</td>
<td>学部のカリキュラムは時間割等の面で履修しやすいものになっているか。</td>
<td>Ⅲ 2 (2)</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>授業時間</td>
<td>1科目あたりの授業時間（1授業あたりの時間が講義の数）は適切だと思いますか。</td>
<td>Ⅲ 2 (3)</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>理解やすさ</td>
<td>教員の授業は理解できますか。</td>
<td>Ⅲ 2 (4)</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>単位・成績</td>
<td>単位取得要件や成績管理の方法は適切だと思いますか。</td>
<td>Ⅲ 2 (5)</td>
</tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>セミ指導</td>
<td>セミナーチームの教員の指導に満足していますか。</td>
<td>Ⅲ 2 (6)</td>
</tr>
<tr>
<td>2 施設設備</td>
<td>教室環境</td>
<td>教室の受講環境（清潔さ・広さ・照明・音響・AV設備等）は整備されていると思いますか。</td>
<td>Ⅳ 2 (1)</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>図書館環境</td>
<td>図書館の利用環境（館内設備・図書の貸出制度・職員の対応等）は快適ですか。</td>
<td>Ⅳ 2 (2)</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>コンピュータ環境</td>
<td>コンピュータ環境（ハードウェアおよびソフトウェアの数および機能）に満足していますか。</td>
<td>Ⅳ 2 (4)</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>体育施設</td>
<td>体育施設及び健康支援の施設・設備に満足していますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (5)</td>
</tr>
<tr>
<td>3 学生生活</td>
<td>食堂・売店</td>
<td>食堂・売店などの設備に満足していますか。</td>
<td>Ⅳ 2 (6)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>事務職員</td>
<td>事務職員の対応は親切で丁寧（ていねい）だと感じますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (1)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>事務手続</td>
<td>各種の事務手続についてスムーズにできると感じますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (2)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>就職支援</td>
<td>キャリアサポートの就職等支援に満足していますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (3)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>学内イベント</td>
<td>学内イベントの数・内容に満足していますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (4)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>クラブ・サークル</td>
<td>クラブ・サークルの数は十分にあると思いますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (5)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>交友機会</td>
<td>学内で交友関係を広げたり深めたりする機会は十分にありますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (6)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>健康支援</td>
<td>健康診断や健康診断による健康面の支援体制に満足していますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (7)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>カウンセリング</td>
<td>カウンセリング等の精神面の支援体制に満足していますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (8)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>経済支援</td>
<td>貸金・アルバイト制度の経済面の支援体制に満足していますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (9)</td>
</tr>
<tr>
<td>3</td>
<td>通学</td>
<td>自宅から本学への通学が時間や手段の面で便利だと感じますか。</td>
<td>Ⅴ 2 (10)</td>
</tr>
<tr>
<td>4 総合満足度</td>
<td>知識・技能</td>
<td>自分の目的に照らして有用な知識や技能を学べていると思いますか。</td>
<td>Ⅵ 1 (1)</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>人間的成長</td>
<td>学生生活を通じて自分の人間的成長を実感できますか。</td>
<td>Ⅵ 1 (2)</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>出会い</td>
<td>学生生活を通じて教員・職員・友人・先輩・後輩との出会いを豊かにして思いますか。</td>
<td>Ⅵ 1 (3)</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>キャリアプラン</td>
<td>学生生活を通じて明確な自分の将来のキャリアプランを描けるようになっていますか。</td>
<td>Ⅵ 1 (4)</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>誇り・自信</td>
<td>自分が上武大学の学生であることに誇り・自信を持てるようになりましたか。</td>
<td>Ⅵ 1 (5)</td>
</tr>
<tr>
<td>4</td>
<td>総合的満足</td>
<td>総合的にみて上武大学における勉学や学生生活に満足していますか。</td>
<td>Ⅵ 1 (6)</td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)
1. 観測変数 No.12「食堂・売店」は、アンケート中では潜在変数 No.2「施設設備」の構成変数として質問しているが、分析にあたっては純粋な教育上の「施設設備」と分離するため、またその機能が学生生活の支援的側面を有することに着目して、潜在変数 No.3「学生生活」の構成変数に組み替えてある。
2. 観測変数 No.28「総合的満足」を問う質問は、潜在変数 No.4 「総合満足度」を定量的に確認するために設定したものであって、意味的には2つの変数は重複するから、本分析の共分散構造分析モデル（多重指標モデル）においては、同観測変数は組み込んでいない。

図3 学生満足度モデル

4 満足度関連質問に対する回答の基本統計量

4.1 総合的分析

アンケートの満足度関連質問に対する回答（5段階評価、1：低⇒5：高）の基本統計量は表2のとおりである。個別の項目でみれば、平均値の高いものとして「図書館環境（施設設備）」（平均値 3.46）、「ゼミ指導（教育）」（同 3.32）、「コンピュータ環境（施設設備）」（同 3.27）などが挙げられ、その一方で低いものとして「食堂・売店（学生生活）」（同 2.63）、「誇り・自信（総合満足度）」（同 2.64）、「交友機会（学生生活）」（同 2.70）などが挙げられること。

また、標準偏差の低いものとして「カウンセリング（学生生活）」（標準偏差 0.834）、「就職支援（学生生活）」（同 0.844）、「健康支援（学生生活）」（同 0.912）などが挙げられ、その一方で高いものとして「通学（学生生活）」（同 1.159）、「事務職員（学生生活）」（同 1.135）、「ゼミ指導（教育）」（同 1.132）などが挙げられる。
1年次からのゼミ指導は本学教育の大きな特色であるが、それが満足度の平均値で比較的高い値が出ている点はある程度評価されるのではないかと考える。しかし、一方で、その標準偏差も比較的大きな値が出ており、ゼミ教員によって学生に付与できる満足度、あるいは学生によってゼミ教員から享受できる満足度に差があることが示唆されている。

表2 満足度関連質問に対する回答の基本統計量

<table>
<thead>
<tr>
<th>カテゴリー</th>
<th>項目</th>
<th>度数</th>
<th>平均値</th>
<th>標準偏差</th>
<th>歪度</th>
<th>尖度</th>
<th>カテゴリー</th>
<th>項目</th>
<th>平均値</th>
<th>カテゴリー</th>
<th>項目</th>
<th>標準偏差</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>教育</td>
<td>科目構成</td>
<td>1,240</td>
<td>2.82</td>
<td>0.951</td>
<td>-0.052</td>
<td>0.203</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>時間割</td>
<td>1,246</td>
<td>2.75</td>
<td>0.988</td>
<td>0.083</td>
<td>0.058</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>授業時間</td>
<td>1,245</td>
<td>3.20</td>
<td>0.889</td>
<td>0.031</td>
<td>0.005</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>理解しやすさ</td>
<td>1,241</td>
<td>2.91</td>
<td>0.923</td>
<td>0.047</td>
<td>0.184</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>喜の基盤</td>
<td>1,245</td>
<td>3.07</td>
<td>0.954</td>
<td>-0.081</td>
<td>0.402</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>健康校基盤</td>
<td>1,232</td>
<td>3.14</td>
<td>1.132</td>
<td>-0.058</td>
<td>-0.494</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>施設設備</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>図書館環境</td>
<td>1,232</td>
<td>3.46</td>
<td>1.027</td>
<td>-0.145</td>
<td>-0.306</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>図書館蔵書</td>
<td>1,226</td>
<td>3.24</td>
<td>1.041</td>
<td>-0.065</td>
<td>-0.144</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>コンピュータ環境</td>
<td>1,229</td>
<td>3.27</td>
<td>1.060</td>
<td>-0.176</td>
<td>-0.257</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>運動環境</td>
<td>1,226</td>
<td>2.76</td>
<td>1.103</td>
<td>0.060</td>
<td>-0.352</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>食堂・売店</td>
<td>1,227</td>
<td>2.61</td>
<td>1.120</td>
<td>0.263</td>
<td>-0.460</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>学内イベント</td>
<td>1,214</td>
<td>2.71</td>
<td>0.973</td>
<td>0.013</td>
<td>0.038</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ダイアリーサポート</td>
<td>1,215</td>
<td>2.81</td>
<td>1.050</td>
<td>0.011</td>
<td>0.126</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>交友機会</td>
<td>1,217</td>
<td>2.79</td>
<td>1.024</td>
<td>0.195</td>
<td>0.094</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>健康機会</td>
<td>1,210</td>
<td>2.80</td>
<td>0.912</td>
<td>0.082</td>
<td>0.628</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>学生生活</td>
<td>看護・理学</td>
<td>1,209</td>
<td>2.78</td>
<td>0.834</td>
<td>0.169</td>
<td>1.164</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>総合満足度</td>
<td>1,214</td>
<td>2.94</td>
<td>0.929</td>
<td>-0.034</td>
<td>0.479</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>運動</td>
<td>1,216</td>
<td>2.83</td>
<td>1.159</td>
<td>0.134</td>
<td>0.457</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>知識・技能</td>
<td>1,214</td>
<td>2.92</td>
<td>0.941</td>
<td>-0.013</td>
<td>0.164</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>人間成長</td>
<td>1,212</td>
<td>3.12</td>
<td>1.011</td>
<td>0.088</td>
<td>0.162</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出会い</td>
<td>1,214</td>
<td>3.14</td>
<td>1.049</td>
<td>-0.074</td>
<td>0.199</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>コンピュータ環境</td>
<td>1,215</td>
<td>2.84</td>
<td>0.987</td>
<td>0.031</td>
<td>0.054</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>業務・信心</td>
<td>1,213</td>
<td>2.64</td>
<td>1.109</td>
<td>0.144</td>
<td>0.456</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>総合満足度</td>
<td>1,213</td>
<td>2.76</td>
<td>1.051</td>
<td>0.012</td>
<td>-0.302</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

(注)
1. 上記の「基本統計量」の表に掲げた「歪度（skewness）」とは、分布の左右対称の度合を表す統計量であり、この値がゼロに近いとき分布は正規分布に近くなり、ゼロより大きい（正の値をとる）とき右にスコを長く、ゼロより小さい（負の値をとる）とき左にスコを長く分布になる。
   また、「尖度（kurtosis）」とは分布の尖り具合またはスコの長さを表す統計量であり、今回の分析で使用したIBM SPSS Statisticsの出力では、この値がゼロに近いとき分布は正規分布に近くなり、ゼロより大きい（正の値をとる）とき急尖でスコの長い分布、ゼロより小さい（負の値をとる）とき緩急でスコの短い分布となる。
2. 上記の「平均値の高いもの順」および「標準偏差の低いもの順」で示した順位は、あくまでも機械的な出力数字上の順位であり、統計学的に差があるといえるかどうかを検証する検定のプロセスを経ずに掲げた。
なお、満足度各カテゴリーの平均値の平均は図4のグラフのとおりであるが、総じて「施設設備」の満足度が比較的に高く、「学生生活」の満足度が低いことがわかる。また「総合満足度」の平均値の平均は2.90であり、大学に対して「やや不満」というのが本学学生のもつ平均的な印象のようなである。

図4 満足度各カテゴリーの平均値の平均

4.2 属性間比較分析

満足度関連質問の回答について、属性間での比較（平均値の差の検定）を行ったものが表3である。以下この結果に基づいて分析を行う。

(1) 「ビ情・経情（ビジネス情報・経営情報学部生）」と「看護（看護学部生）」
「教育」は「授業時間」に差はないが、それ以外の項目はビ情・経情が看護よりも満足度が高。 「施設設備」は「コンピュータ環境」に差はないが、それ以外の項目はビ情・経情が看護よりも満足度が高。「学生生活」はすべての項目においてビ情・経情が看護よりも満足度が高。「総合満足度」は「知識・技能」および「出会い」で看護がビ情・経情より、「誇り・自信」および「総合的満足」でビ情・経情が看護よりも満足度が高い。以上のことから、「総合満足度」カテゴリーで一部例外はあるが、総じてビ情・経情の方が看護よりも満足度が高いということができる。

(2) 「下級生（2年生以下）」と「上級生（3年生以上）」
「教育」は「単位・成績」に差はないが、それ以外の項目は下級生が上級生よりも満足度が高い。「施設設備」は「図書館環境」および「体育施設」に差はないが、それ
以外の項目は下級生が上級生よりも満足度が高い。「学生生活」は「クラブ・サークル」および「交友機会」に差がないが、それ以外の項目は下級生が上級生よりも満足度が高い。「総合満足度」は「出会い」に差はないが、それ以外の項目は下級生が上級生よりも満足度が高い。以上のことから、総じて下級生の方が上級生よりも満足度が高いということができる。

(3) 「日本人（日本人学生）」と「留学生」
「教育」はすべての項目で留学生が日本人よりも満足度が高い。「施設設備」もすべての項目で留学生が日本人よりも満足度が高い。「学生生活」は「事務職員」・「事務手続き」・「学内イベント」・「クラブ・サークル」・「交友機会」で留学生が日本人よりも満足度が高い。「総合満足度」は「出会い」で日本人が留学生よりも満足度が高く、それ以外のすべての項目で留学生が日本人よりも満足度が高い。以上のことから、「総合満足度」カテゴリーの「出会い」を除いて、総じて留学生の方が日本人よりも満足度が高いということができる。

(4) 「所属部あり（セレクション実施部所属学生）」と「所属部なし」
「教育」は「科目構成」および「時間割」で所属部ありが所属部なしよりも満足度が高い。「施設設備」は「図書館蔵書」で所属部ありが所属部なしよりも満足度が高い。「学生生活」は「学内イベント」および「交友機会」を除いて所属部ありが所属部なしよりも満足度が高い。「総合満足度」は「出会い」および「誇り・自信」で所属部ありが所属部なしよりも満足度が高いが、それ以外の項目では差はない。以上のことから、「学生生活」を中心に所属部ありが所属部なしよりも満足度が高い傾向は見られるものの、大学に対する総合的な満足度については必ずしも差はないということができる。

(5) 「男性（男子学生）」と「女性（女子学生）」
「教育」は「科目構成」・「時間割」・「ゼミ指導」で男性が女性よりも満足度が高い。「施設設備」は「教室環境」および「図書館蔵書」で男性が女性よりも満足度が高い。「学生生活」は「健康支援」を除くすべての項目で男性が女性よりも満足度が高い。「総合満足度」は「誇り・自信」で男性が女性よりも満足度が高いが、それ以外の項目では差はない。以上のことから、「学生生活」を中心に男性が女性よりも満足度が高い傾向は見られるものの、大学に対する総合的な満足度については必ずしも差はないということができる。

(6) 「伊勢崎（伊勢崎キャンパス学生）」と「高崎（高崎キャンパス学生）」
「教育」はすべての項目で伊勢崎が高崎よりも満足度が高い。「施設設備」はすべての項目で伊勢崎が高崎よりも満足度が高い。「学生生活」は「交友機会」および「通学」を除くすべての項目で伊勢崎が高崎よりも満足度が高い。「総合満足度」は「誇り・
自信」および「総合的満足」で伊勢崎が高崎よりも満足度が高い。以上のことから総じて伊勢崎の方が高崎よりも満足度が高いということはいえようが、これはキャンパス間の差というよりもむしろ学部（伊勢崎＝ビジネス情報学部、高崎＝看護学部）による差の表出と考え方が適切であるかもしれない。

表3 満足度関連質問に対する回答の属性間比較

<table>
<thead>
<tr>
<th>カテゴリー</th>
<th>項目</th>
<th>事前</th>
<th>有無</th>
<th>性別</th>
<th>所属部</th>
<th>日本人</th>
<th>留学生</th>
<th>性別</th>
<th>所属部</th>
<th>日本人</th>
<th>留学生</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>教育</td>
<td>科目構成</td>
<td>2.90</td>
<td>2.53</td>
<td>3.07</td>
<td>2.69</td>
<td>2.73</td>
<td>3.06</td>
<td>3.25</td>
<td>3.19</td>
<td>2.91</td>
<td>2.78</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>時間制</td>
<td>2.82</td>
<td>2.50</td>
<td>2.90</td>
<td>2.69</td>
<td>2.67</td>
<td>3.06</td>
<td>2.83</td>
<td>3.21</td>
<td>2.78</td>
<td>2.68</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>授業時間</td>
<td>3.22</td>
<td>3.12</td>
<td>3.32</td>
<td>3.11</td>
<td>3.15</td>
<td>3.35</td>
<td>3.16</td>
<td>3.21</td>
<td>3.19</td>
<td>3.20</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>受験しやすさ</td>
<td>2.95</td>
<td>2.75</td>
<td>3.00</td>
<td>2.82</td>
<td>2.83</td>
<td>3.19</td>
<td>2.87</td>
<td>2.92</td>
<td>2.91</td>
<td>2.90</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>単位・給料</td>
<td>3.10</td>
<td>2.96</td>
<td>3.14</td>
<td>3.06</td>
<td>3.02</td>
<td>3.25</td>
<td>3.08</td>
<td>3.06</td>
<td>3.08</td>
<td>3.05</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>ゼミ指導</td>
<td>3.42</td>
<td>2.91</td>
<td>3.45</td>
<td>3.22</td>
<td>3.19</td>
<td>3.81</td>
<td>3.33</td>
<td>3.31</td>
<td>3.35</td>
<td>3.23</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>教室環境</td>
<td>3.28</td>
<td>2.73</td>
<td>3.34</td>
<td>3.05</td>
<td>3.02</td>
<td>3.74</td>
<td>3.10</td>
<td>3.18</td>
<td>3.22</td>
<td>3.04</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>実験室環境</td>
<td>3.53</td>
<td>3.19</td>
<td>3.57</td>
<td>3.50</td>
<td>3.38</td>
<td>3.79</td>
<td>3.47</td>
<td>3.46</td>
<td>3.47</td>
<td>3.42</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>実験室研究書</td>
<td>3.30</td>
<td>3.03</td>
<td>3.38</td>
<td>3.21</td>
<td>3.18</td>
<td>3.49</td>
<td>3.35</td>
<td>3.31</td>
<td>3.29</td>
<td>3.15</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>コンピュータ環境</td>
<td>3.28</td>
<td>3.20</td>
<td>3.43</td>
<td>3.24</td>
<td>3.21</td>
<td>3.51</td>
<td>3.30</td>
<td>3.25</td>
<td>3.25</td>
<td>3.31</td>
</tr>
<tr>
<td>学生生活</td>
<td>体育館</td>
<td>2.83</td>
<td>2.48</td>
<td>2.81</td>
<td>2.71</td>
<td>2.70</td>
<td>2.99</td>
<td>2.82</td>
<td>2.73</td>
<td>2.77</td>
<td>2.73</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>食堂・売店</td>
<td>2.88</td>
<td>2.47</td>
<td>2.82</td>
<td>2.53</td>
<td>2.83</td>
<td>2.87</td>
<td>2.73</td>
<td>2.70</td>
<td>2.69</td>
<td>2.52</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>事務職員</td>
<td>3.26</td>
<td>2.48</td>
<td>3.33</td>
<td>3.06</td>
<td>3.03</td>
<td>3.35</td>
<td>3.35</td>
<td>2.99</td>
<td>3.23</td>
<td>2.82</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>事務職員</td>
<td>3.22</td>
<td>2.53</td>
<td>3.33</td>
<td>3.05</td>
<td>3.01</td>
<td>3.31</td>
<td>3.27</td>
<td>2.99</td>
<td>3.19</td>
<td>2.81</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>就職支援</td>
<td>3.09</td>
<td>2.81</td>
<td>3.03</td>
<td>2.92</td>
<td>3.04</td>
<td>2.96</td>
<td>3.13</td>
<td>2.99</td>
<td>3.09</td>
<td>2.90</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>学内イベント</td>
<td>2.78</td>
<td>2.47</td>
<td>2.88</td>
<td>2.64</td>
<td>2.66</td>
<td>2.93</td>
<td>2.76</td>
<td>2.69</td>
<td>2.74</td>
<td>2.57</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>クラブ・サークル</td>
<td>2.65</td>
<td>2.64</td>
<td>2.90</td>
<td>2.79</td>
<td>2.78</td>
<td>2.91</td>
<td>3.00</td>
<td>2.69</td>
<td>3.25</td>
<td>2.72</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>交流機会</td>
<td>2.74</td>
<td>2.58</td>
<td>2.78</td>
<td>2.71</td>
<td>2.67</td>
<td>2.85</td>
<td>2.76</td>
<td>2.68</td>
<td>2.74</td>
<td>2.62</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>健康支援</td>
<td>2.84</td>
<td>2.64</td>
<td>2.97</td>
<td>2.65</td>
<td>2.78</td>
<td>2.87</td>
<td>2.87</td>
<td>2.77</td>
<td>2.92</td>
<td>2.74</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>カウンセリング</td>
<td>2.84</td>
<td>2.57</td>
<td>2.92</td>
<td>2.67</td>
<td>2.77</td>
<td>2.84</td>
<td>2.87</td>
<td>2.75</td>
<td>2.83</td>
<td>2.70</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>経済支援</td>
<td>2.90</td>
<td>2.61</td>
<td>2.91</td>
<td>2.71</td>
<td>2.64</td>
<td>2.84</td>
<td>3.00</td>
<td>2.77</td>
<td>2.89</td>
<td>2.71</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>通学</td>
<td>2.89</td>
<td>2.64</td>
<td>2.92</td>
<td>2.76</td>
<td>2.86</td>
<td>2.77</td>
<td>3.06</td>
<td>2.74</td>
<td>2.90</td>
<td>2.70</td>
</tr>
<tr>
<td>総合満足度</td>
<td>知識・技能</td>
<td>2.89</td>
<td>3.04</td>
<td>3.10</td>
<td>2.84</td>
<td>2.87</td>
<td>3.13</td>
<td>2.91</td>
<td>2.93</td>
<td>2.91</td>
<td>2.96</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>人間的成長</td>
<td>3.11</td>
<td>3.10</td>
<td>3.11</td>
<td>2.96</td>
<td>3.08</td>
<td>2.86</td>
<td>3.19</td>
<td>3.10</td>
<td>3.11</td>
<td>3.14</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>出会い</td>
<td>3.11</td>
<td>3.24</td>
<td>3.09</td>
<td>3.10</td>
<td>3.16</td>
<td>3.01</td>
<td>3.32</td>
<td>3.06</td>
<td>3.13</td>
<td>3.15</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>キャリアプラン</td>
<td>2.82</td>
<td>2.92</td>
<td>2.90</td>
<td>2.71</td>
<td>2.81</td>
<td>2.98</td>
<td>2.89</td>
<td>2.83</td>
<td>2.84</td>
<td>2.85</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>特性・信念</td>
<td>2.71</td>
<td>3.38</td>
<td>2.74</td>
<td>2.55</td>
<td>2.56</td>
<td>2.96</td>
<td>2.76</td>
<td>2.59</td>
<td>2.69</td>
<td>2.52</td>
</tr>
</tbody>
</table>

（注）

1. p = 有意確率で、*** 1%, ** 5%, * 10%の各水準で有意であることを示す。
2. 「有意」とは端的にいえば何%の確率でその事象が確からしいかを示す表現である。データからある仮説を採択してよいかどうかを決める問題を「仮説検定」といい、通常は採択したくない仮説（棄却したい仮説）を帰無仮説：H_0 とし、逆の仮説を対立仮説：H_1 とす。このとき、帰無仮説を棄却する確率 α を「有意水準」あるいは「危険率」といい、ある検定統計量分布における統計量の外側の確率、いわゆる「有意確率」が有意水準より小さい場合、その検定統計量が棄却域に含まれ仮説を棄却されることになる、このように導かれた結果が「有意」ということばで表現される。ただし、有意水準 α は分析者の判断に委ねられている。
なお、カテゴリ「総合満足度」における「総合的満足」の平均値の差の検定結果から特にいえることは、「看護学部」の「上級生」が本学に対する最も厳しい評価者であるということである。

5 共分散構造分析による総合的分析

学生満足度モデルのAmosによる係数（標準化）の推計結果は図5および図6のとおりである。ここで図5の「完全ケース」とは回答に欠損値のないケースのみを集積して分析した結果であり、図6の「不完全ケース」とは欠損値のあるケースの欠損値を推計（Amosの機能による）したうえで、全ケースを分析した結果である。

モデルの当てはまりのよさを示す「修正済み適合度指標（AGFI：Adjusted Goodness of Fix Index）」は0.839であった。この指標では値が1に近いほど当てはまりがよく、一般に0.9以上が望ましい値とされるが、変数の数が多くなるとこの値が上がりにくいという特徴があるため、特に変数の数が30以上の場合は0.9を下回っても一概にモデルの当てはまりがよくないとはいえないとされる。ちなみに別の適合度指標である「RMSEA：Root Mean Square Error of Approximation」は0.074となったが、この指標ではその値が0.05以下であれば当てはまりがよく、0.1以上であれば当てはまりがよくないと判断される。

表4は完全ケースにおけるモデルの係数の推計値と検定統計量であるが、「施設設備」から「総合満足度」に引かれるパス以外はすべて有意に正の値をとっている。

以上の結果、本分析において設定した仮説については次のように検証されることになる。

仮説1：学生の大学に対する総合的満足度は、大学が学生に提供する「教育」・「施設設備」・「学生生活」という3つの支援要素によって決定される。
（検証）支持される。ただし、「施設設備」は「総合満足度」に対して直接的には影響を及ぼさず、「教育」を通じて間接的な影響を及ぼすにすぎない。

仮説2：学生の総合的満足度に「コア要素」として最も大きな影響を及ぼす支援要素は「教育」である。
（検証）支持されない。「教育」から「総合満足度」に直接引かれるパスの標準化推計値が0.25であるのに対し、「学生生活」のそれは0.47とさらに高い値をとっている。

潜在変数との関係の低い観測変数を削除して値を向上させることも可能であるが、本分析における学術的観点よりもむしろ戦略的観点から満足度構造の属性間の比較を詳細に観察するという目的のため、あえてモデルの修正は行わない。
仮説3：「施設設備」および「学生生活」の支援要素は、学生の総合的満足度に対して直接的な影響のみならず、「サポート要素」として「教育」を通じた間接的な影響も及ぼす。
（検証）支持される。

なお、各因子と各回答項目間のパラメータの推計結果からは、以下のような事項が観察される。

1) 「総合的満足度」に関しては「人間的成長」・「キャリアプラン」のウェイトが高い。
2) 「教育」に関しては「科目構成」・「時間割」・「単位・成績」のウェイトが高いが、「ゼミ指導」のウェイトは必ずしも高くない。
3) 「施設設備」に関しては「体育施設」のウェイトは必ずしも高くない。
4) 「学生生活」に関しては特に「カウンセリング（精神的支援）」および「健康支援」のウェイトが高い一方で、「食堂売店」・「事務職員」・「通学」のウェイトは必ずしも高くない。
図 5 学生満足度モデル分析結果（完全ケース）

＜完全ケース＞
N = 1,141

図 6 学生満足度モデル分析結果（不完全ケース）

＜不完全ケース＞
N = 1,251
6 共分散構造分析による属性比較分析

本章では、「学部」・「学年」・「国籍」・「所属部」・「性別」・「キャンパス」というそれぞれの切り口から、各属性における満足度の構造の比較・分析を行う。それぞれの係数（標準化）の推計結果および特徴的な観察事項は以下の6.1から6.6の各項に掲げている。なお、係数で有意性のないものは各図のパス上に点線の△で示している。

5 ここでの分析には欠損値を含む全ケース（「不完全ケース」）を用いている。また、共分散構造分析において異なる母集団の比較分析を厳密に行うためには、モデルの構成概念（潜在変数）が、いずれの集団においても同一であるという仮定の下で、さまざまな等価制約を課して標準化推定値によって両集団における潜在変数間のパス係数の強さを比較する「多母集団の同時分析」や、それに加えて潜在変数の平均値・切片を比較する「平均構造分析」といった分析が必要であるが、本稿では分析の目的の射程および紙幅の制約を考慮して、あえてこれらを省略した。
6.1 ビジネス情報学部＋経営情報学部 vs. 看護学部

○ 看護学部の「総合満足度」に対する「教育」の影響度が相対的に高い。
○ ビジネス情報学部・経営情報学部の「学生生活」に係る「就職支援」のウェイトが高い。

---

N = 985

N = 266

---
6.2 下級生（1・2回生） vs. 上級生（3・4回生）

○ 下級生の「総合満足度」に対する「教育」の影響度が相対的に高い。
○ 下級生の「総合満足度」に係る「人間的成長」のウェイトが高い。
○ 上級生の「教育」に係る「科目構成」・「時間割」・「単位成績」のウェイトが高い。
○ 上級生の「学生生活」に係る「事務職員」・「事務手続」のウェイトが高い。
6.3 日本人学生 vs. 留学生

○ 留学生の「総合満足度」に対する「施設設備」の影響度が高い有義である（特に図書館環境のウェイトが高い）。

○ 留学生の「総合満足度」に対する「出会い」のウェイトが高い。

○ 留学生の「学生生活」に対する「就職支援」・「クラブ・サークル」のウェイトが高い。
6.4 所属部（セレクション実施部）あり vs. 所属部なし

○ 所属部ありの「総合満足度」に対する「施設設備」の影響度が有意でない。
○ 所属部ありの「総合満足度」に対する「教育」の影響度が有意でない。
6.5 男子学生 vs. 女子学生

○ 女子学生の「総合満足度」に対する「教育」の直接的影響度が「学生生活」の直接的影響度を上回っている。

○ 男子学生の「教育」に係る「時間割」のウェイトが高い。

○ 男子学生の「学生生活」に係る「健康支援」のウェイトが高い。
6.6 伊勢崎キャンパス学生 vs. 高崎キャンパス学生

○ 高崎の「総合満足度」に対する「教育」の影響度が相対的に高いが、これは看護学部生の影響と思われる。

○ 伊勢崎の「総合満足度」に対する「施設設備」の影響度が有意であるが、これは留學生の影響と思われる。
以上の比較分析の結果について、おおむね以下のような解釈が可能ではないかと考えられる。

1) 看護学部生はビジネス情報・経営情報両学部生と比較して、下級生は上級生と比較して、より教育を重視する傾向にある。
2) 留学生は施設設備（特に図書館環境）や大学での出会いの環境を重視する傾向にある。
3) セレクション実施部所属の学生は、以外にも施設設備をそれほど重視していない。また、教育も重視していない。
4) 女子学生の方が男子学生よりも教育を重視する傾向にある。
5) 伊勢崎キャンパスの学生は教育、高崎キャンパスの学生は施設設備を重視する傾向がみられるが、これはそれぞれ看護学部生、留学生の影響によるものと考えられる。

7 まとめ

総合的分析において、本学においては学生の総合満足度の構成要因として「人間的成長」や「キャリアプラン」が高い位置を占めていることが判明した。これらを充足させるためには、学生が必ずしも直接的には施設設備の充実を重視しているわけではないと解されることから、ハード面よりもむしろ、教育や学生生活支援を通じたソフト面でのトータルなケアが求められているといえるであろう。

全体的には学生生活支援が本学の学生の総合満足度に与える影響が大きく、特に「カウンセリング（精神的支援）」や「健康支援」などとの結びつきが強いことから、心身両面にわたる一層のサポート体制の充実が本学における喫緊の課題であろう。

また、本学にはビジネス情報・経営情報両学部という経営系（社会科学系）学部と看護学部という医療系（自然科学系）学部という性格の異なる学部が併設され、またスポーツ系を中心とするセレクション学生や留学生を幅広く受け入れているため、実に多様な学生が参集している。彼らが大学に求めるものは様々であることから、学生満足度を向上させるためには、大学全体としてのトータルな施策をすることなく、極力各属性に対応するきめ細かなケアを行うための施策を検討していく必要があるであろう。
第３章　自由記入の意見等（学部）

経営情報学部　植松　盛夫

１　自由記入欄の記入率

自由記入欄に記入がある人数とその割合は表1のとおりである。集計上は「特別ない」「ない」という記述は有効な記入とみなさず記入しなかったものとして取り扱った。看護学部の記入率は他学部に比べ高く、関心の度合いが強いことを示唆している。

<table>
<thead>
<tr>
<th>学部</th>
<th>在籍数</th>
<th>回収数</th>
<th>自由記入</th>
<th>記入率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>ビジネス情報学部</td>
<td>989</td>
<td>706</td>
<td>187</td>
<td>26.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>経営情報学部</td>
<td>370</td>
<td>278</td>
<td>80</td>
<td>28.8%</td>
</tr>
<tr>
<td>看護学部</td>
<td>296</td>
<td>267</td>
<td>91</td>
<td>34.1%</td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>1655</td>
<td>1251</td>
<td>358</td>
<td>28.6%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

学生の属性による自由記入欄の記入率をまとめたものが表2である。所属部あり（セレクション実施所属部学生）と所属部なしでは、所属部なしの学生の記入率が高い。また、男子学生よりも女子学生の方が記入率が高いが、女子学生の多くが看護学部所属ということも考えると、この違いは学部の違いにもなっていると考えられる。また、日本人の方が留学生にくるべ記入率が高い。

表2　学生の属性と自由記入欄の記入率

<table>
<thead>
<tr>
<th>属性</th>
<th>回収数</th>
<th>自由記入</th>
<th>記入率</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>所属部あり</td>
<td>352</td>
<td>84</td>
<td>23.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>所属部なし</td>
<td>899</td>
<td>274</td>
<td>30.5%</td>
</tr>
<tr>
<td>男性</td>
<td>845</td>
<td>217</td>
<td>25.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>女性</td>
<td>404</td>
<td>141</td>
<td>34.9%</td>
</tr>
<tr>
<td>日本人</td>
<td>990</td>
<td>294</td>
<td>29.7%</td>
</tr>
<tr>
<td>留学生</td>
<td>253</td>
<td>64</td>
<td>25.3%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

※一部に性別不明、日本人か留学生か不明のデータがあるため回収数の合計と合わない。
２ 自由記入欄の記入と総合満足度（VI－6）の平均値

自由記入欄に記入した学生と未記入の学生の総合的満足度（VI－6の設問）について平均値を比較した。未記入者の2.84に比べ記入者は2.57と有意の差（P=0.00014）が出た。これにより、記入された指摘、不満、提案などを考慮することで満足度が上がることが期待される。

<table>
<thead>
<tr>
<th></th>
<th>平均値</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>記入者</td>
<td>2.57</td>
</tr>
<tr>
<td>未記入者</td>
<td>2.84</td>
</tr>
<tr>
<td>全体</td>
<td>2.76</td>
</tr>
</tbody>
</table>

３ 自由記入欄の内容

表4は、記入された内容を満足度調査の質問項目ごとに分類して件数を上げたものである。358人が記入したが、1人の記入者が平均して2件程度の項目について意見を述べており、合計で666件の意見が寄せられた。これらを調査項目ごとに分類した。ただし、分類できないものので「教育」、「施設・設備」、「学生生活」の大分類には入れることができるものは、各大分類のその他の項目に計上し、それ以外のものについては、「総合・その他」に計上した。
### 表4 自由記入欄の内容の項目別分類

<table>
<thead>
<tr>
<th>区分</th>
<th>分類</th>
<th>ビジネス情報</th>
<th>経営情報</th>
<th>看護</th>
<th>全体</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>1. 教育</td>
<td>1 科目構成</td>
<td>15</td>
<td>9</td>
<td>6</td>
<td>30</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2 時間割</td>
<td>0</td>
<td>2</td>
<td>4</td>
<td>6</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>3 授業時間</td>
<td>2</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>4 理解しやすさ</td>
<td>22</td>
<td>7</td>
<td>44</td>
<td>73</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>5 単位・成績</td>
<td>4</td>
<td>3</td>
<td>2</td>
<td>9</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>6 ゼミ指導</td>
<td>1</td>
<td>1</td>
<td>5</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>その他</td>
<td>3</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>4</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>小計</td>
<td>47</td>
<td>22</td>
<td>62</td>
<td>131</td>
</tr>
<tr>
<td>2. 施設・設備</td>
<td>7 教室環境</td>
<td>10</td>
<td>1</td>
<td>16</td>
<td>27</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>8 図書館環境</td>
<td>7</td>
<td>0</td>
<td>16</td>
<td>23</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>9 図書館蔵書</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>2</td>
<td>3</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>10 コンピュータ環境</td>
<td>5</td>
<td>6</td>
<td>3</td>
<td>14</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>11 体育施設</td>
<td>52</td>
<td>7</td>
<td>11</td>
<td>70</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>その他</td>
<td>23</td>
<td>14</td>
<td>41</td>
<td>78</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>小計</td>
<td>98</td>
<td>28</td>
<td>89</td>
<td>215</td>
</tr>
<tr>
<td>3. 学生生活</td>
<td>12 食堂・売店</td>
<td>43</td>
<td>27</td>
<td>25</td>
<td>95</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>13 事務職員</td>
<td>1</td>
<td>13</td>
<td>22</td>
<td>36</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>14 事務手続</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>10</td>
<td>14</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>15 就職支援</td>
<td>3</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
<td>7</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>16 学内イベント</td>
<td>11</td>
<td>3</td>
<td>6</td>
<td>20</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>17 クラブ・サークル</td>
<td>16</td>
<td>3</td>
<td>4</td>
<td>23</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>18 交友機会</td>
<td>16</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>17</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>19 健康支援</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>2</td>
<td>2</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>20 カウンセリング</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>21 経済支援</td>
<td>5</td>
<td>3</td>
<td>0</td>
<td>8</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>22 通学</td>
<td>27</td>
<td>0</td>
<td>3</td>
<td>30</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>その他</td>
<td>1</td>
<td>0</td>
<td>0</td>
<td>1</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>小計</td>
<td>125</td>
<td>55</td>
<td>74</td>
<td>254</td>
</tr>
<tr>
<td>4. 総合・その他</td>
<td>17</td>
<td>6</td>
<td>43</td>
<td>66</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>合計</td>
<td>287</td>
<td>111</td>
<td>268</td>
<td>666</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>
記入された具体的な内容について項目ごとに述べる。括弧内は件数である。

大分類「1. 教育」については、「理解しやすさ」に関するものが73件と最も多く、次いで「科目構成」（30）、「単位・成績」（9）、「ゼミ指導」（7）、「時間割」（6）となっている。「理解しやすさ」に関しては、授業がわかりにくい、教え方が悪い、授業料に見合った授業をしてほしい、教員同士の連携がない、教員の入れ替わりが多すぎるなどの記述があった。授業の理解のしやすさというよりは、教員のパーソナリティに関わるものが多かったが、便宜上この項目に分類した。「科目構成」については、科目を増やしてほしい（語学、専門、体育）、資格を取れるようにしてほしいなどがあった。

大分類「2. 施設・設備」では、「体育施設」（70）が最も多く、「教室環境」（27）、「図書館環境」（23）、「コンピュータ環境」（14）がそれに続く。「体育施設」については、体育館の整備（30）、トレーニングルームの改善（14）、サッカー場の芝の整備（11）についての指摘と体育施設利用手続きの簡素化を求めるものがあった。「教室環境」については、教室が狭い（6）、遠隔授業がやりにくい（4）、教室を清潔にしてほしいなどの意見があった。「図書館環境」については、図書館の土日を含む利用時間の延長を求める意見（13）が多かった。その他の項目が78件と多いが、項目を立てていなかったものがすべてここにはいった。内訳は、高崎キャンパスの駐車場整備（14）、ロッカー（4）、喫煙場所と分煙（15）、施設の土日開放（8）、ATM設置（4）などである。

大分類「3. 学生生活」では、食堂・売店（95）が最も多く、次いで、事務職員の対応（36）、通学（30）、クラブ・サークル（23）学園祭・イベント（20）に関するものが多かった。「食堂・売店」のうち、食堂に関する不満は多く、「メニューを増やして欲しい」、「まずい」、「量が少なすぎる」などの意見が見られる。食堂および売店については、営業時間の延長を求める声も少なくなかった。「事務職員」については、愛想のないさを指摘する声があった。「通学」では、学バスへの不満（29）がほとんどでバスの本数を増やすことを求める。「クラブ・サークル」では、サークルが少ないという意見があり、「学内イベント」ではイベントを増やしてほしいという意見があった。

総合・その他には、総合的な意見や他の項目に入らないものなど66件の意見がある。今のままでいい（7）という肯定的な意見もある一方、高い学費に見合った施設や教育でない、授業料が野球や駅伝に使われているのではないか、授業料の明細を出してほしいなどの意見が13件あった。看護学部の学生からは、実習時にバスを出してほしい（8）という意見が出ている。

自由記入欄の内容について学部間やキャンパス間（伊勢崎キャンパス＝ビジネス情報学部、高崎キャンパス＝経営情報学部・看護学部）で大きく隔たりのある項目がいくつかある。「1. 教育」の中で最も意見の多かった項目でもある「理解しやすさ」は、看護学部が44件とビジネス情報学部（22）、経営情報学部（7）に比べ多かった。「2. 施設・
設備」では、「体育施設」が、伊勢崎キャンパス 52 件と、高崎キャンパス 18 件に比べ多い。「3. 学生生活」においては、「食堂・売店」では、伊勢崎キャンパス 43 件と高崎キャンパス 52 件と大差ないが、「事務職員」では、高崎キャンパスが多く、逆に、「通学」や「交友機会」では伊勢崎キャンパスが多かった。

4 提言

自由記入欄の内容と学生満足度モデルの分析結果を踏まえ学生満足度を向上させるための方策について考える。自由記入欄の内容を項目ごとに分類したとき、その件数が多い方がより不満を抱えている項目であることは間違いいないが、その不満を解消することが満足度の向上に直接影響があるかどうかは疑問がある。学生満足度モデルの分析によれば、満足度に関与する項目は、「学生生活」であり、次に「教育」で、「施設」はあまり満足度の向上に寄与していない。「学生生活」の中では、「カウンセリング」、「健康支援」、「経済支援」、「学内イベント」などが強い関連がある。一方、自由記入欄の内容では、「食堂・売店」が圧倒的に多く、「事務職員」、「通学」が続くが、これらは、「学生生活」の満足度とはそれほど強い関連がない。 「教育」の中では、「単位・成績」、「科目構成」、「時間割」などが強い関連がある。一方、自由記入欄の内容では、「理解しやすさ」が圧倒的に多く、次いで「科目構成」が多い。「施設」の中では、「図書館環境」、「図書館蔵書」、「教室環境」が強い関連がある。一方、自由記入欄の内容では、「その他」、「体育施設」が多い。「施設」については、モデルの分析結果と自由記入欄の記述に乖離が見られる。これらの点を踏まえ、学生の満足度向上のための方策として次の 6 点を提言したい。

1. カウンセリング・保健室の情報提供
2. 学内サークルの充実
3. 学生への財務状況の公開
4. 活発なFD活動
5. 図書館の利用日・利用時間の拡張
6. 体育施設の充実

提言について補足する。
(1) カウンセリング・保健室の情報提供

「カウンセリング」、「健康支援」は、自由記入欄の記述はほとんどないが、学生満足度モデルの分析によれば満足度を向上させる要因として上位に上がる。実態調査に
おいては、カウンセリング室や保健室の存在そのものを知らない学生が半数近くあることがわかっている。カウンセリングや保健室の情報提供は、現在でも入学時オリエンテーションや年度当初の学年別オリエンテーション、さらには掲示にて行われているが、浸透していないようである。具体的な方法はここでは触れられないが、カウンセリング室と保健室の認知度を上げることが満足度向上に繋がるものと考えられる。(2) 学内サークルの充実
「クラブ・サークル」および「学内イベント」に関しては、それぞれ「サークルが少ない」、「イベントが少ない」などの記述が複数あった。学生満足度モデルの分析でも、「学内イベント」は満足度の向上に繋がる上位の要因である。また、「学内イベント」を増やすためには、その母体となるサークル活動を活発化させることが必要であろう。実態調査によれば、体育系、文科系のどちらのサークルにも加入していない学生は43%になる。また、自由記入欄では、「サークルに入りたかったが種類が少なく活動してなかったため入れなかった。」「もっと文科系のサークルの種類を増やして欲しい。」などの記述が多く見られ、サークルを作ることに関しては人任せであることが見受けられる。したがって、教職員主導で学生を巻き込みつつ新しいサークルを作ることが必要である。(3) 学生への財務状況の公開
「学費の明細を出してほしい」といった趣旨の意見が13件あった。財務状況については現在でも掲示板などで公開しているわけであるが、学生がそれを見ていないか、あるいは学生が欲しい情報でないという状況であろう。学生の知りたい情報を学生の望む方法で提示することで、こうした不満が解消するものと思う。(4) 活発なFD活動
自由記入欄にて、「教育」の「理解しやすさ」のカテゴリーに分類される意見が70件寄せられている。上でも述べたが、教員のパーソナリティに関する意見が多い。ピアレビューなど現在も行われている教育力向上のためのFD活動をさらに活発化する必要がある。(5) 図書館の利用日・利用時間の拡張
図書館の土日開放および施設の土日開放を望む意見が21件あるが、ほとんどが看護学部の学生である。高崎キャンパスの分館の休日開放を試験的に導入し、需要が見込めば継続的に行ったほうがどうだろうか。(6) 体育施設の充実
満足度モデルの分析で、「施設・設備」は満足度にはほとんど寄与していない。しかしながら、所属部ありの学生に限定すると満足度との関連が見られる。自由記入欄では「施設・設備」の中では「体育施設」に関する記述が70件あるが、ほとんどが所属部
ありの学生である。本学の入学者の相当数が部活動のために入学していることも考慮すると、中・長期的に体育施設の充実を図っていくことが必要であろう。
第4章 記述統計による調査結果および自由記入の意見等（大学院）

ビジネス情報学部 森 統

大学院生の満足度調査票の回収数は50であり、平成23年12月1日時点の在籍者数68に対する回収率は約74%となっている。調査票は、学部と同様に、まず属性（7項目）について調査し、価値観を問うたあと、「教育」、「施設・設備」、「学生生活・キャリア支援」のそれぞれに関する実態調査と満足度調査を行い、最後に、「総合的満足度」について問うかたちになっており、加えて意見等の自由記入欄を設けている。以下では、記述統計に基づくこれらの結果を調査票の質問項目の順番に従って整理する。まず、1節で属性に関する集計を一覧表として掲げ、次に、2節において、価値観と、「教育」、「施設・設備」、「学生生活・キャリア支援」に関する実態調査の結果を記し、そして、3節において教育」、「施設・設備」、「学生生活・キャリア支援」に関する満足度調査の結果および「総合的満足度」の結果を記している。最後に、4節として、自由記入欄における意見等についてまとめている。

なお、集計結果を示した図表に関しては、属性に関するものを除いて、以下の結果の記述の後に一括して記している。

1 属性

回答者の属性は、所属コース、学年（入学年度）、日本人学生・留学生区分、性別、年齢、学歴、出身学部系統、社会人経験の有無について調査した。結果は以下の表のとおりである。

<table>
<thead>
<tr>
<th>1.所属コース</th>
<th>(回答数)</th>
<th>(比率)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>経営管理</td>
<td>13</td>
<td>26.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>会計システム</td>
<td>14</td>
<td>28.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>経営情報システム</td>
<td>3</td>
<td>6.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>流通・経済システム</td>
<td>16</td>
<td>32.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>スポーツ健康マネジメント</td>
<td>3</td>
<td>6.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>回答なし</td>
<td>1</td>
<td>2.0%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

<table>
<thead>
<tr>
<th>2.学年（入学年度）</th>
<th>(回答数)</th>
<th>(比率)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>2009年以前</td>
<td>1</td>
<td>2.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>2010年度</td>
<td>23</td>
<td>46.0%</td>
</tr>
<tr>
<td></td>
<td>2011年度</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>------------------</td>
<td>----------</td>
<td>------</td>
</tr>
<tr>
<td>3.日本人・留学生の別</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>日本人</td>
<td>17</td>
<td>34.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>留学生</td>
<td>33</td>
<td>66.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>4.性別</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>男</td>
<td>37</td>
<td>74.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>女</td>
<td>13</td>
<td>26.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>5.年齢</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>25歳以下</td>
<td>4</td>
<td>8.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>26～30歳</td>
<td>26</td>
<td>52.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>31～35歳</td>
<td>11</td>
<td>22.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>36歳以上</td>
<td>9</td>
<td>18.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>6.学歴</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>上武大学</td>
<td>34</td>
<td>68.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>上武大学以外</td>
<td>13</td>
<td>26.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>3</td>
<td>6.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>7.出身学部系統</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>法・経済</td>
<td>4</td>
<td>8.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>経営・商学</td>
<td>43</td>
<td>86.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>社会学・文学</td>
<td>0</td>
<td>0.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>医療・看護</td>
<td>0</td>
<td>0.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>理・工学</td>
<td>0</td>
<td>0.0%</td>
</tr>
<tr>
<td>その他</td>
<td>3</td>
<td>6.0%</td>
</tr>
</tbody>
</table>

### 2 実態調査の結果

実態調査においては以下のようなことが得られた。まず、各院生の価値観についてみると、進学の目的は、学位を目指すとする者が最も多く、次いで資格取得のためであり、それに高度な専門知識を得ることが続く。（Ⅱ・(1)）また、コースの選択理由は、その課程に対して関心があるとする院生が最も多く、資格取得や専門的職業に就くことを意識して選択していることが窺える。（Ⅱ・(2)）

次に、大学院の教育について、学習の実情は次のようなものとなっている。登校日数は週2日で最も多く、次いで週3日、週1日と続く。週4日登校している者がわずか（6%）存在する。（Ⅲ・1・(1)）受講科目（コマ）数は、6〜7コマが最も多く、次いで4〜5コマ、2〜3コマ、1コマと続くが8コマ以上受講している者はいない。これらの状況は、大学院では、授業科目数や取得すべき単位が少ないことによる。（Ⅲ・1・(2)）
出席状況は、1/3程度欠席する院生が20%ほどいるが残りはごくわずかか、もしくは全出席している。（III-1-(3)）自己学習時間を見ると、週5時間未満の少ない院生が32%存在する。（III-1-(4)）教員への質問は毎週1回以上する院生は42%存在する。（III-1-(5)）

これらから、授業に出席することに熱心である一方、自己学習が少ないという特徴が鮮明である。

大学院の施設・設備の利用状況については、まず、自習室の利用時間は1～3時間未満が約半数（48%）で最も多く、次いで3時間以上5時間未満が26%の割合を占めている。（IV-1-(1)）

図書館の利用は、週に2～3日と頻繁に利用する院生が26%存在する。（IV-1-(2)）また、80%以上の院生が月に図書を1冊以上借りている。（IV-1-(3)）

運動施設の授業外の利用は少なく、大部分（78%）の者が運動施設を全く利用しない。（IV-1-(4)）

学生生活・キャリア支援に関する実情については、院生同士で学術的交流や対話をする者は、いずれも90%以上存在する。（V-1-(1)(2)）また、大学への相談を行うのは約43%の院生である。（V-1-(3)）

奨学金制度については、16名（32%）がこれまでに受給したことがあるか、または現在受給している。また、奨学金を希望する院生は16名（32%）、希望しない院生は13名（26%）である。（V-1-(4)）

通学時間については、通学に1時間以上かけている院生は約60%存在する。（V-1-(5)）

卒業後の進路については、ほとんどの院生が就職を希望しており、日本の民間企業に就職を希望する者が45%、留学生など本邦で就職するつもりの者が25%、公務員を希望しているのは7%である。なお、博士課程進学を希望する者は0である。（V-1-(7)）

3 満足度調査の結果

満足度調査の結果について、最初に、平均値で作成したカテゴリー別のレーダーチャートから満足度を推し量ると、まず、教育に関しては、いずれの項目の解答もバランスよく高い平均値（いずれも3.5以上）を示しており、全体に満足度が高いと言える。また、施設・設備については、施設の管理には十分な満足が得られているようであるが、各施設・設備の満足度は、おおむね普通（3.0程度）である。そして、学生生活・キャリア支援については事務処理の適切さを除いて満足度は普通の水準（3.0）より低く、特に売店・食堂が低くなっている。最後の総合的満足度は、4項目のいずれもバランスよく高い平均値を示しており、全体に高い満足度を示している。
次に、各項目について詳しく結果の状況を見てゆく。満足度の質問では5段階評価で回答することになっているので、以下では4または5の解答は「肯定的評価」、1または2の解答は「否定的評価」と呼ぶことにする。

まず、大学院の教育についての評価であるが、授業科目が十分用意されているかについては、約半数（50%）の院生が「十分である」または「一定程度用意されている」と肯定的に評価している一方で、20%が否定的であり、肯定的評価が否定的評価の割合を明らかに上回っているが、否定的評価の割合は無視できない。Ⅲ-2-(1)また、時間割構成については、約半数の48%が大きな支障はないとし、一定以上の支障があるとする否定的評価は14%と少ない。Ⅲ-2-(2)有用な授業内容、授業の専門性、および社会に有用な知識・考え方の習得についてはほぼ60%の院生が普通より高い満足度を示す肯定的評価を示し、不満を示す否定的評価は15%以下にとどまっている。Ⅲ-2-(3)(4)(6)また、授業水準の適正さについては、「適当である」「おおよそ適当である」とする肯定的評価は約48%であり、否定的評価は10%にとどまっている。Ⅲ-2-(5)そして、教員等からの有益な助言と指導を受けているかについては、否定的な評価が10%と少なく、肯定的な評価は教育のカテゴリーのなかで最も高い割合を示し66%に上る。Ⅲ-2-(7)

次に、大学院の施設・設備についての評価であるが、教室等の整備には、整備されているという肯定的な評価は、38%であり、整備されていないという否定的な評価は約16%である。Ⅳ-2-(1)

これに対して、AV教室やコンピュータ教室（PC環境）が整備されていると思うかという問いに対しては、肯定的な評価は30%程度にとどまる一方で、否定的な評価は26%に達しており、一般の教室に比べると、未整備と感じる院生の割合が多いことを示している。Ⅳ-2-(2)

自習室については、使いやすいという肯定的評価と使いにくいという否定的評価がほぼ同じ26%となっている。Ⅳ-2-(3)

図書館については、肯定的評価をする割合は39%で、否定的評価は27%であり、肯定的評価が上回っているとはいえ、否定的評価も高い割合になっている。Ⅳ-2-(4)

学内の施設（掲示板・廊下・トイレ）の整理整頓や清掃（施設の管理）については、否定的評価は7%で少なく、半数を大きく超える61%が肯定的評価を示している。Ⅳ-2-(5)

三俣記念館・学生ホール・運動施設等の整備については、肯定的評価は27%とあまり高くなく、否定的評価は25%である。Ⅳ-2-(6)

三つめのカテゴリーの大学生活の支援等について評価を見ると、まず、奨学金制度に対しても、肯定的評価をする院生は23%にとどまり、否定的評価をする院生の割合が41%となっており、他の項目に比べて不満を感じている学生の割合が特に多い。Ⅴ-2-(1)
事務処理の適切さについては、肯定的評価は45%であり、否定的評価は他の項目に比べて高い割合を示している。ただし、否定的評価も25%存在し、必ずしも少なくない。（V-2-(2))

就職支援体制は、肯定的評価が22%、否定的評価は30%で、否定的評価が肯定的評価を上回っている。（V-2-(3))

健康管理・悩み・ハラスメントなどの問題に対し、支援を行う態勢（生活支援）については、肯定的評価は18%、否定的評価は16%という評価の割合も低い。（V-2-(4))

売店・食堂に関しては、満足を示した者が9%に過ぎず、不満は43%とかなり高い割合となっている。（V-2-(5))他の項目に比べて否定的評価が高い割合を示している。通学に不便を感じる院生は35%とかなり高い割合となっている。（V-2-(6))

総合的満足度では以下の結果が示された。まず、学習・研究生活の意義を感じている院生、将来のキャリア・アップを期待している院生の割合はそれぞれ52%と55%であり、意義を感じない、キャリア・アップが期待できないとする否定的な評価はそれぞれ14%と16%と低い割合となっている。全般的に、悲観的になることを少なくポジティブな意義を感じているとみられる。（VI-(1)(2))

教育研究体制に関する総合的な満足に関する肯定的評価の割合は45%であり、不満は18%である。（VI-(3))

修士論文の完成の見通しも悲観的な見方は12%に過ぎず、半数以上の52%が楽観的な見方を示している。（VI-(4))

総じて、カテゴリーの間では、大学院教育に高い満足度が示される一方で、それに比べると、大学院の施設・設備に対しては、相対的に満足度が低く、普通程度の満足度であり、また、大学院における学生生活・キャリア支援に対する満足度は低く、不満の割合が高い。しかし、こうした不満の部分が一定程度認められるものの、総合的満足度はかなり高いという結果になっている。

4 自由記入欄における意見等

大学院満足度調査の自由記入欄には、記入内容の数でみると42件（同じ意見でも異なる回答者によるものは1件として数える）の意見が寄せられた。

カテゴリー別では、教育に関するものが2件、施設・設備に関するものが最も多く37件、学生生活・キャリア支援に関するものが6件、その他が3件であった。

教育については、2件とも授業科目の設置を拡充してほしいという要望であり、うち1件では特にスポーツ分野の充実が求められている。
施設・設備について最も意見の記入が多かったのは、自習室に関するもの（12件）であり、続いて、図書の充実に関する要望（7件）、教室設備などに関する意見（7件）、判例検索ソフトの導入の要望（4件）、図書館の環境に関する意見（4件）、スポーツ設備に関する意見（3件）が出されている。自習室に関しては、PCが古く使い勝手が悪いとする不満が多かった。その他、ポットなどの機器についての要望、コピー機や電子レンジの設置や開室時間の拡大を求める意見などがあった。図書の配備に関しては、専門図書（特に租税関連）の充実を求める意見が6件と多かった。図書館の環境については、利用時間の拡大を求めるものの（2件）があった。また、特定の専攻分野（租税法）に限るものであれば、判例検索ソフト導入の要望が4件あった。教室設備などについては、空調や机、マーカー閲して不便や不都合を指摘する意見があった。その他、コピー機が少ないという意見、トイレに温水洗浄便座の設置の要望などがあった。

学生生活・キャリア支援では、売店や食堂の開いている時間が短いと指摘する意見の他、奨学金制度に関する不満、ATM設置の要望、メディアラボや自習スペースの悪環境の指摘（各1件）があった。

その他では、大学の知名度をあげるため運動部の活躍に期待する意見、高崎キャンパス学生の挨拶する態度に好感を持ったという感想があったが、一方で、今回の調査方法について個人の特定がされやすく答えづらいのでネットを使う形にしてほしいという意見があった。

全体としてみると、院生の場合、自習室や図書館の整備を求めるものに意見が集中している。研究や勉学を行う環境整備に対する関心の高さが窺える。
図表

II・(1)大学院実態（進学の目的）

II・(2)大学院実態（コース選択理由）

III・1・(1)登校日数（週単位）

III・1・(2)大学院実態（受講コマ数）

III・1・(3)出席状況

III・1・(4)自己学習時間
III・1・(5)教員への質問

- 頻繁にする
  - もういない：6%
- 月に1回
  - 1回：18%
- 月に2～8回
  - 36%

IV・1・(1)自習室利用時間

- 8時間以上：18%
- 7時間未満：7%
- 6時間未満：26%
- 5時間未満：20%
- 1時間未満：18%
- 0時間未満：6%

IV・1・(2)図書館利用

- 週に3日以上
  - 週に3日以上：0%
- 週に2～3日
  - 週に2～3日：28%
- 週に1日程度
  - 週に1日程度：42%
- 月に一日程度
  - 月に一日程度：29%
- 月に一日以下
  - 月に一日以下：10%

IV・1・(3)図書館借用

- 10冊以上
  - 10冊以上：4%
- 5～9冊
  - 5～9冊：16%
- 5冊未満
  - 5冊未満：60%
- 0冊
  - 0冊：10%

IV・1・(4)運動施設の利用(授業外)

- 比較的よく利用する
  - 比較的よく利用する：8%
- たまに利用する
  - たまに利用する：12%
- 全く利用しない
  - 全く利用しない：76%

V・1・(1)院生同士の学術的な情報交換

- 頭著にする
  - 頭著にする：16%
- 比較的良くする
  - 比較的良くする：27%
- たまにする
  - たまにする：50%
- 全くしない
  - 全くしない：17%

V・1・(2)院生同士での日常的対話

- 比較的よくある
  - 比較的よくある：20%
- たまにする
  - たまにする：28%
- 比較的少なくする
  - 比較的少なくする：48%
- 全くしない
  - 全くしない：28%

V・1・(3)大学への生活上の相談

- 比較的よくある
  - 比較的よくある：14%
- たまにする
  - たまにする：57%
- 全くない
  - 全くない：28%
- 比較的多い
  - 比較的多い：15%

69
平成23年度 大学院生 学生満足度調査結果（記述統計）

<table>
<thead>
<tr>
<th>カテゴリー</th>
<th>質問番号</th>
<th>質問項目</th>
<th>平均値</th>
<th>標準偏差</th>
<th>度数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>大学の教育</td>
<td>Ⅲ-2-1</td>
<td>授業科目の設置</td>
<td>3.5</td>
<td>1.15</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の教育</td>
<td>Ⅲ-2-2</td>
<td>時間割の構成</td>
<td>3.56</td>
<td>1.05</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の教育</td>
<td>Ⅲ-2-3</td>
<td>授業内容の有用性</td>
<td>3.72</td>
<td>1.09</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の教育</td>
<td>Ⅲ-2-4</td>
<td>授業の専門性</td>
<td>3.78</td>
<td>1.12</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の教育</td>
<td>Ⅲ-2-5</td>
<td>授業水準の適正さ</td>
<td>3.54</td>
<td>1.01</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の教育</td>
<td>Ⅲ-2-6</td>
<td>有用な知識・考え方の習得</td>
<td>3.76</td>
<td>1.06</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の教育</td>
<td>Ⅲ-2-7</td>
<td>有益な助言・指導</td>
<td>3.86</td>
<td>1.09</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の施設・設備</td>
<td>Ⅳ-2-1</td>
<td>教室環境</td>
<td>3.34</td>
<td>1.19</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の施設・設備</td>
<td>Ⅳ-2-2</td>
<td>PC環境</td>
<td>3.08</td>
<td>1.24</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>大学の施設・設備</td>
<td>Ⅳ-2-3</td>
<td>自習室</td>
<td>3.04</td>
<td>1.18</td>
<td>50</td>
</tr>
<tr>
<td>IV−2−4</td>
<td>図書館</td>
<td>3.2</td>
<td>1.15</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>---------</td>
<td>------------</td>
<td>------</td>
<td>------</td>
<td>----</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>IV−2−5</td>
<td>施設の管理</td>
<td>3.86</td>
<td>1.03</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>IV−2−6</td>
<td>学生ホール・運動施設等</td>
<td>3.05</td>
<td>1.08</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>V−2−1</td>
<td>異学金制度</td>
<td>2.68</td>
<td>1.18</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>V−2−2</td>
<td>事務処理の適切さ</td>
<td>3.23</td>
<td>1.31</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>V−2−3</td>
<td>就職支援体制</td>
<td>2.84</td>
<td>1.03</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>V−2−4</td>
<td>健康管理等大学生活支援</td>
<td>2.95</td>
<td>0.83</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>V−2−5</td>
<td>売店・食堂</td>
<td>2.48</td>
<td>1.05</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>V−2−6</td>
<td>通学の不便さ</td>
<td>2.74</td>
<td>1.2</td>
<td>44</td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

学生生活・キャリア支援

| VI−1     | 学ぶ意義を感じる | 3.52 | 1.11 | 44 |
| VI−2     | キャリアアップにつながる | 3.55 | 1.15 | 44 |
| VI−3     | 教育研究体制 | 3.32 | 1.05 | 44 |
| VI−4     | 修士論文完成の見通し | 3.59 | 1.13 | 44 |

総合的満足度

カテゴリー別レーダーチャート

教育

学生生活・キャリア支援

総合的満足

学ぶ意義を感じる

キャリアアップにつながる

修士論文完成の見通し